

名取駅東地区
にぎわい
再生計画
2023▶▶▶2030



※イメージ図

令和5年3月

ごあいさつ



名取市では、平成 21 年度に「名取市中心市街地活性化基本計画」を策定し、その実現に向け市民の皆様とともに各種施策に取り組み、増田地区防災広場整備や名取駅前市の市街地再開発事業により、図書館公民館を含む複合ビルが整備されるなど、一定の成果を上げてきました。

しかしながら、名取駅東地区の県道仙台名取線沿線の商店街については、近年、空き地、空き店舗などの増加や、商店街交通量が減少傾向にあるなど都市の空洞化が進みつつあります。

これらの課題に対応し、にぎわいを取り戻すため、「名取市中心市街地活性化基本計画」を継承する計画として、時代の変化に対応した、より具体的な対策を講ずることができるよう「名取駅東地区にぎわい再生計画」を策定いたしました。

事業実施につきましては、名取まちづくり㈱をはじめ、地域住民、商業関係者及び行政が協働・連携していくことにより、名取駅東地区を活力にあふれた新たなまちとして再生していくものであり、成功させるためには各々の力を出し合っていくことが不可欠でありますので、関係各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見を賜りました市民の皆様をはじめ、名取駅東地区にぎわい再生計画ワークショップの皆様、名取駅東地区にぎわい再生計画策定委員の皆様にご心より感謝申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

令和 5 年 3 月

名取市長 山田 司郎

目 次

1. はじめに	1
2. 計画期間	1
3. 名取駅東地区の課題	2
(1) 将来人口について	2
(2) 名取駅東地区の土地活用について	2
(3) 中心市街地活性化基本計画の事後評価について	3
(4) 名取駅東地区の事業継続意向について	4
(5) 名取駅東地区に対する市民の意見について	5
4. にぎわい再生の方向性	8
(1) にぎわい再生の基本方針	8
(2) にぎわい再生に向けた対象の方向性	8
(3) にぎわい再生事業	9
(4) 施設・店舗の整備	10
5. 事業展開	11
(1) 対象区域	11
(2) 事業内容	12
(3) 事業指標と目標値の設定	15
(4) 事業スケジュール	15
(5) 社会実験	16
(6) 今後の事業課題	16



参考資料	18
1. アンケートの概要	19
(1) 市民アンケート	19
(2) 事業者アンケート	22
2. ワークショップ	24
(1) 第1回にぎわい再生ワークショップ	24
(2) 第2回にぎわい再生ワークショップ	31
(3) 第3回にぎわい再生ワークショップ	38
(4) 第4回にぎわい再生ワークショップ	52
(5) 第5回にぎわい再生ワークショップ	61
3. 学生懇談会	64
4. 施設整備の検討	65



1. はじめに

名取駅東地区は、名取市中心市街地活性化基本計画により平成 21 年度から平成 30 年度の 10 年間で計画期間として活性化事業に取り組んできました。

計画事業の主な成果は、名取駅前に公共施設の図書館、公民館を集約し、商業施設や集合住宅を整備する「複合型拠点施設整備事業」の実現や公民館の移転に伴う跡地活用として、増田地区防災広場を整備し、現在は市民コミュニティや憩いの場として市民に親しまれています。

本計画は、名取市中心市街地活性化基本計画を継承するとともに、時代の変化に対応するため、対象地区を絞り込み、より具体的な対策を講ずることができるように、意識調査やワークショップにより、住民や事業者のニーズを反映しながら、地域特性を活かした名取駅東地区の発展を目指し策定します。

名取駅東地区にぎわい再生計画

- 市民意識調査
- 事業所等意識調査
- にぎわい再生ワークショップ

2. 計画期間

本計画期間は、名取市第六次長期総合計画の計画期間と合わせ、令和 5 年度（2023 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 8 年間で計画期間に設定します。なお、計画期間内において、社会情勢の変化などにより計画の見直しが必要となる場合は、随時見直しを行うものとします。

目標年次

令和 5 年度～12 年度（2023 年度～2030 年度）

3. 名取駅東地区の課題

(1) 将来人口について

本市の人口は土地区画整理事業などで堅調に増えており、名取市第六次長期総合計画では2030年に85,000人を目標としています。



※名取市第六次長期総合計画の推計値より

人口増加の一方で、65歳以上の割合は増えるため、高齢化社会の訪れとともに後継者問題や、空き家問題などにより、都市の無秩序化やスポンジ化が懸念されます。

人口が増加している現状において、中心市街地の活力向上に向けた対策を講じることが求められています。

(2) 名取駅東地区の土地活用について

名取駅東地区は本市の中心市街地であり、経済活動を活性化させるために土地の高度利用が求められる地区となります。しかしながら、当該地区は駐車場や空き地などが増加傾向にあります。

都市を大きく発展させるためには土地区画整理事業や市街地再開発事業などの面整備事業は有効な事業手法となりますが、土地所有者や権利者の合意形成に時間を要する事業でもあります。権利者の合意形成が整うまでの期間、当該用地を何もしない塩漬けの土地とすることは、まちの衰退の進行や経済的にも大きなリスクとなります。

このため、都市基盤に時間をかけてしっかり整備する長期事業と長期事業が動き出すまでの間の期間でも地区の活性化に取り組める短期事業を組み合わせ、名取駅東地区のにぎわい再生に取り組むことが求められています。

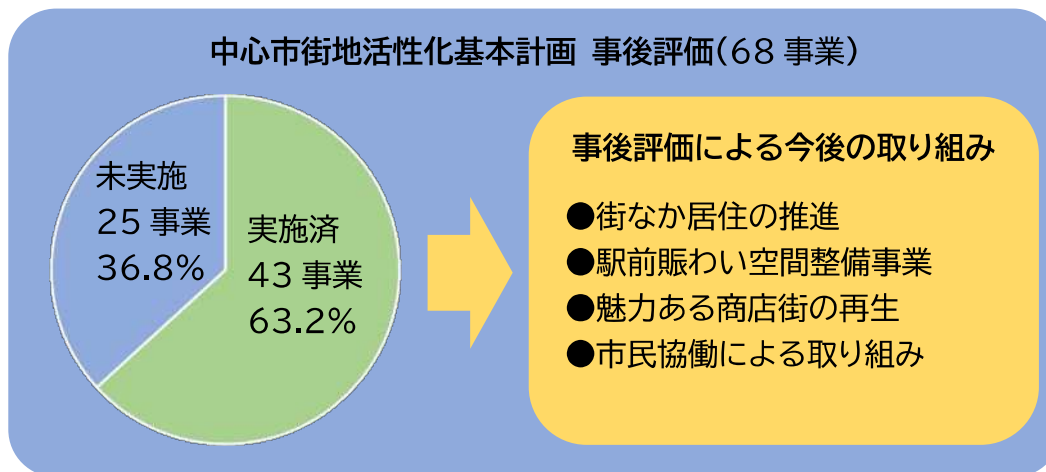
(3) 中心市街地活性化基本計画の事後評価について

●名取市中心市街地活性化基本計画の概略

事業期間：平成 21 年 4 月～平成 31 年 3 月

計画事業：複合型拠点施設整備事業、多目的広場調査・検討事業、商店街チャレンジショップ事業 など

●計画事業の進捗

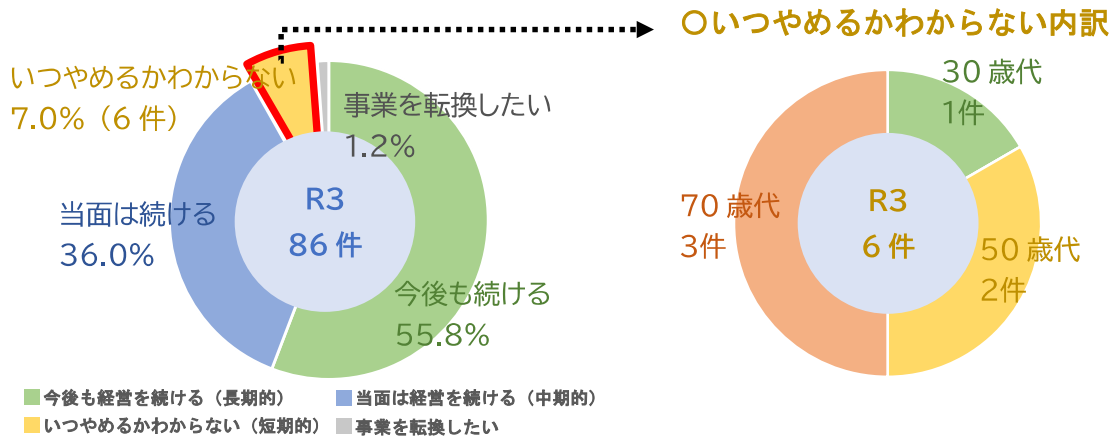


●事業目標の達成状況

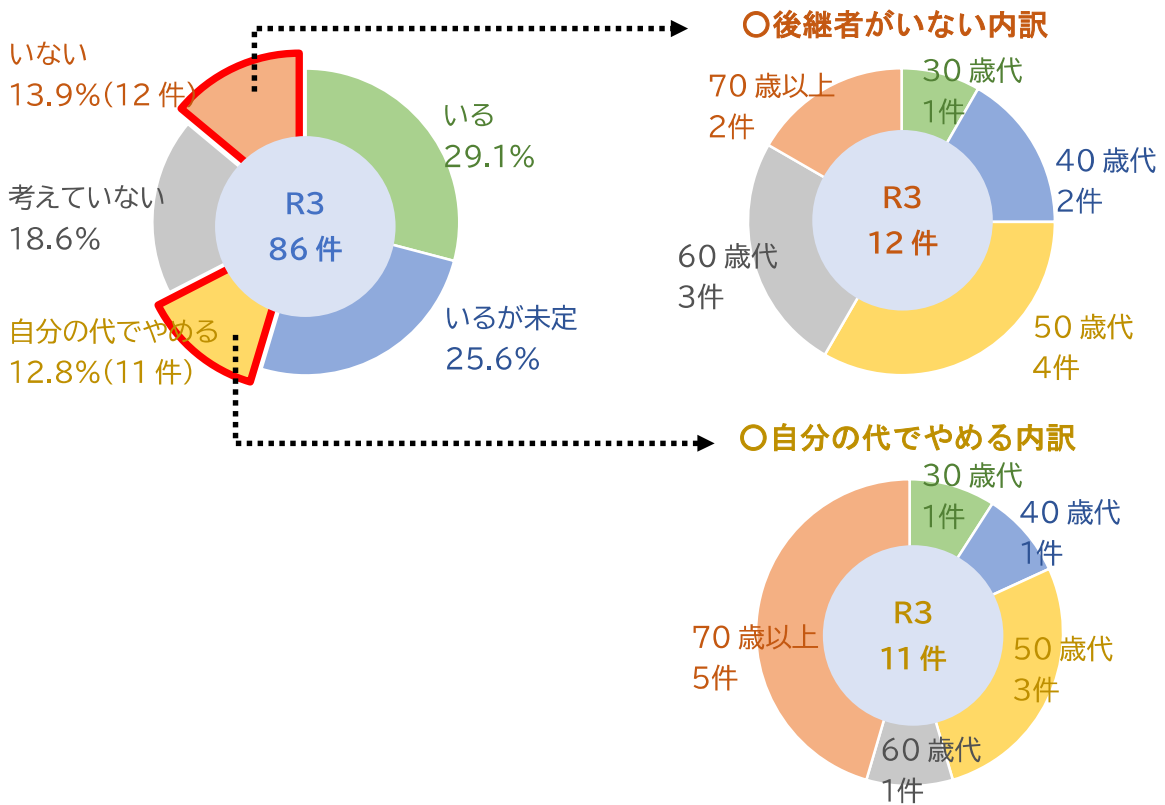
事業目標	指標	基準値	目標値	実績値	評価
街なか居住人口の維持・増加	中心市街地居住人口	4,830	4,917	4,929	達成
商店街通行量の維持・増加	商店街通行量	3,348	3,429	3,121	未達成
事業所数の維持・増加及び空き店舗数減少	事務所数	276	296	256	未達成

(4) 名取駅東地区の事業継続意向について

●経営の継続意向について



●事業の後継者について

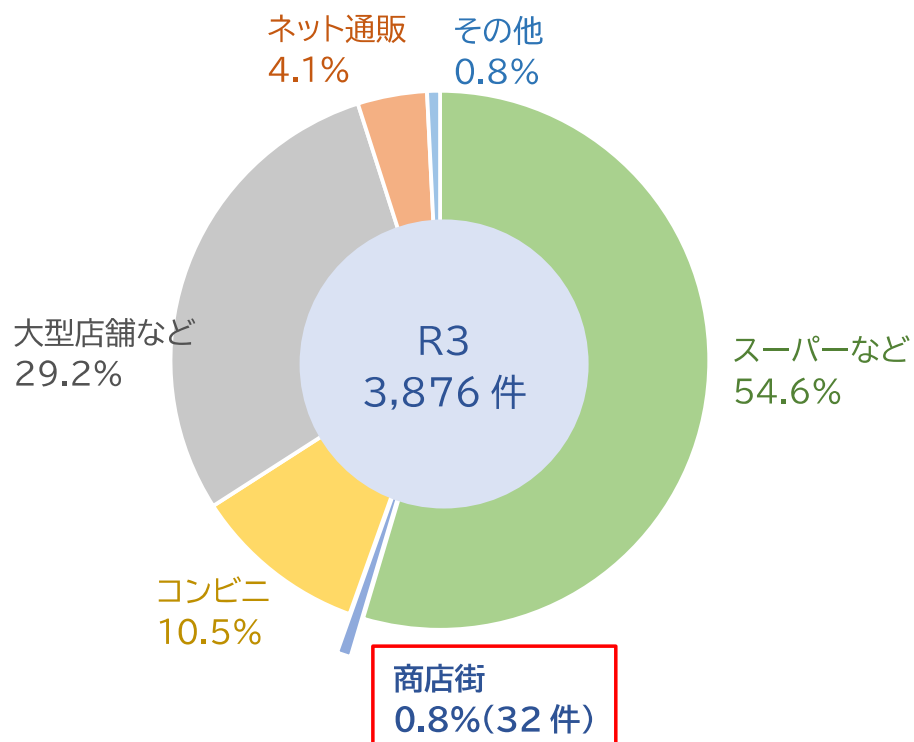


※令和3年度事業所等意識調査（有効回答数：86件）

事業所等意識調査の結果、経営について「いつやめるかわからない」が7.0%、事業の後継者について「いない」「自分の代でやめる」が合計26.7%など廃業につながる回答が29件（回答重複あり）となり、名取駅東地区の事業継承、事業継続に向けた早急な対応が求められています。

(5) 名取駅東地区に対する市民の意見について

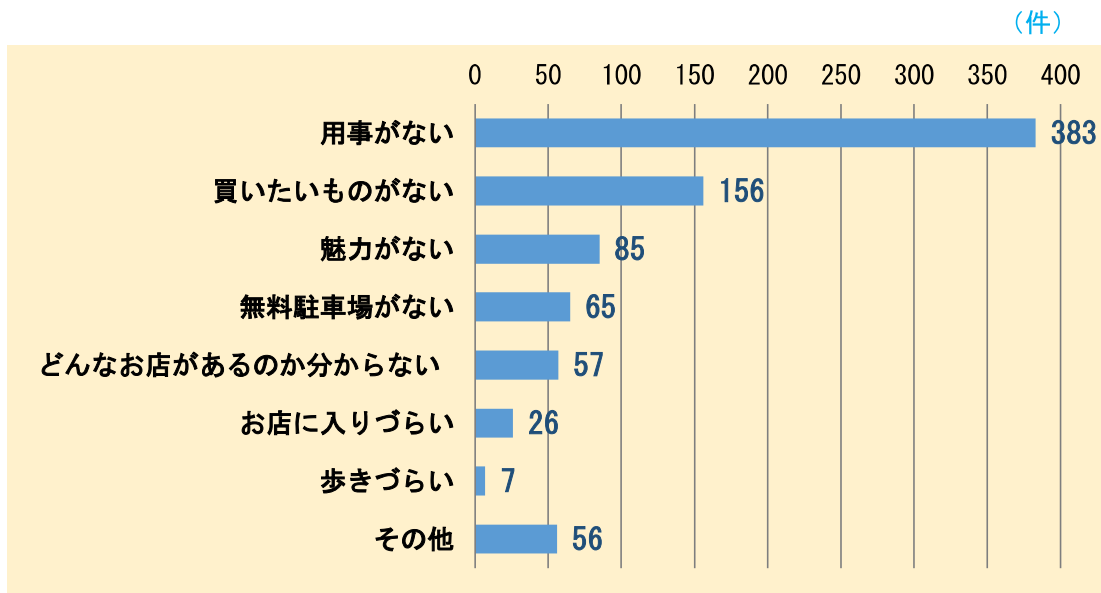
● 普段の買い物先（日用品・食料品）について



※令和3年度市民意識調査（有効回答数：3,876件）

市民意向調査では、日用品や食料品の買い物について「スーパーマーケット」や「大型店舗など」が83.8%にのぼり、「商店街」は0.8%に留まり、品ぞろえ、利用しやすさなどから利用割合が少ない傾向にあると考えられます。

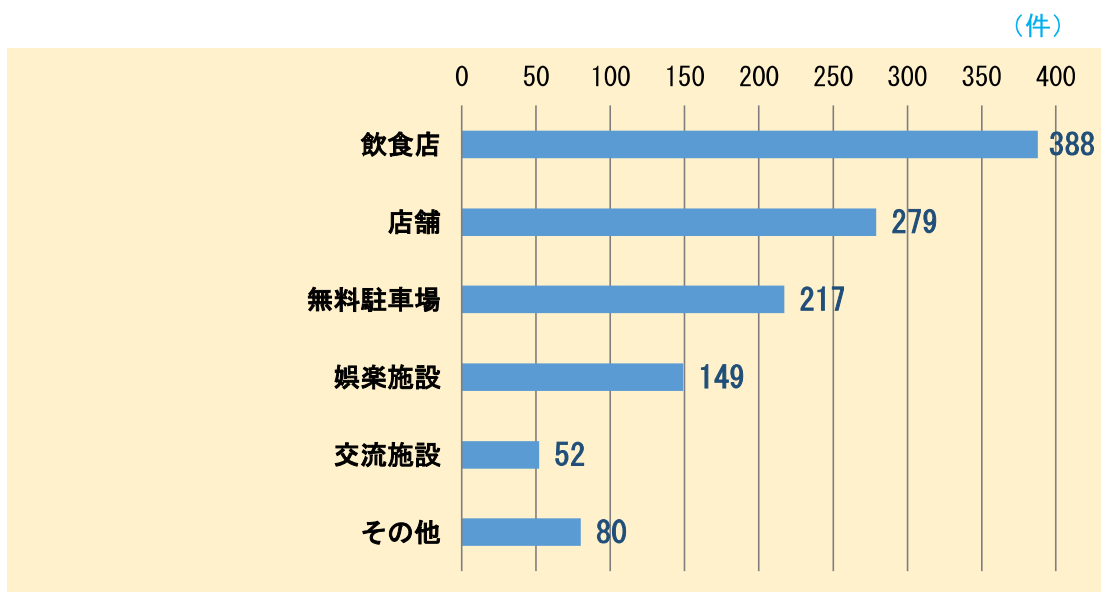
●名取駅東地区の商店街を利用しない理由



※令和3年度市民意識調査（有効回答数：835件）

名取駅東地区の商店街を利用しない理由について「用事がない」「買いたいものがない」などの意見が多くあり、魅力ある商店街づくりが求められています。

●魅力を高めるために必要な施設



※令和3年度市民意識調査（有効回答数：1,165件）

魅力を高めるために必要な施設としては、店舗や飲食店の意見が多くあり、利便性の向上の面から無料駐車場の整備が求められています。

市民意識調査における主な意見

- ・ 学生が好むような店舗があればよいのではないか。
- ・ 大型店舗で買い物をしており、商店街で買い物をしない。
- ・ 道路が狭く、自動車の出入がしにくい。
- ・ 勉強ができる場所がほしい。
- ・ コミュニティ施設があれば人が集まるのではないか。
- ・ 子どもが安心して歩ける商店街にしてほしい。

にぎわい再生ワークショップ参加者の主な意見 地区の課題・足りないもの

- ・ 自動車交通量が多いが、歩行者が少なく、店舗も無い。
- ・ 歩道が整備されておらず、歩きにくく危険。
- ・ 土地が短冊形で使いにくい。
- ・ 閉店した店舗の看板がそのまま寂れた印象がある。
- ・ 商店街の統一感や一体感がない。
- ・ 若者の集まれる場が無い。
- ・ 市営駐車場がほしい。
- ・ 防災広場を会場としたイベントがもっと必要。
- ・ 名取の情報を発信できる場所が必要。

市民意識調査やワークショップの意見では、歩道の整備などの安全性に関するもの、若者にとって魅力的な集まることのできる店舗や施設の不在が課題として挙げられました。

4. にぎわい再生の方向性

(1) にぎわい再生の基本方針

以下の3つを基本方針といたします。

基本方針	内容
基本方針1	地域への愛着を持つことができる。時代の変化に対応した持続可能なまちづくりをめざします。
基本方針2	学生や子育て世代の親子の集まれる場所を創出し、人の集まりによる活気や勢いにより、地区の活性化をめざします。
基本方針3	まちづくりは、土地区画整理事業や市街地再開発事業などの長期事業も視野に入れながら、今は早急に取り組むことができるコンパクトな事業を展開します。



人の賑わいから地域活性化をめざす

(2) にぎわい再生に向けた対象の方向性

○名取駅利用者

名取駅は県内3番目の乗車人数があり、駅利用者についても対象と考えます。

○子育て世代

本市の特徴として市民の約4割が子育て世代（20歳～49歳まで）で構成されています。子育て世代の親子をにぎわい再生に向けた対象とすることで、市民サービスの向上とともに、子どもにも本市に愛着を持ってもらい、将来も本市に住み続けてもらうことを期待します。

○学生

尚綱学院大学や名取北高等学校、宮城県農業高等学校、仙台高等専門学校と多くの学校施設が立地しており、学生が求める需要に対応することで、本市に通う学生を当該地区に呼び込む取り組みを行っていきます。



(3) にぎわい再生事業

にぎわい再生計画事業では、にぎわい再生ワークショップで意見があったように商店街の寂れたイメージを解消し、学生や子育て世代の親子が集まれる。明るいイメージとなるような事業を展開していきます。

●にぎわい再生計画事業

種別	計画事業
既存店舗	わかりやすい店舗の周知
	空き店舗等の利活用
	ハイカーやサイクリストが使いやすい店舗等の推進
既存施設	名取駅コミュニティプラザの利活用
	名取駅東西自由通路の利活用
	増田公園（三角公園）の利活用
新規施設	にぎわい再生施設整備
	複合施設整備
民有地	民有地の活用
	J A 用地の活用
道路整備	歩きやすい空間整備
その他	イベント開催

学生や子育て世代の親子が集まれる場所づくりとして、名取駅コミュニティプラザの利活用や新たに駅前市有地に複合施設を整備、増田地区防災広場横の旧視聴覚センター跡地に、にぎわい再生施設を建設、増田公園の再整備などの事業を行います。

(4) 施設・店舗の整備

にぎわい再生事業は、市有地や民有地の借地により事業を展開していくものとなります。

にぎわい再生の方向性において、「名取駅東地区駅前商店街のコンセプトには、わざわざ行きたくないような雰囲気演出（お洒落、美味しい、楽しい）など、他にない独自性が必要」と定め、整備には「統一感」や「〇〇らしさ」が重要であると整理しました。施設・店舗は、**移動可能なトレーラーハウスや鉄骨造のコンテナハウスを用いて事業を展開するものとします。**

設置・撤去が容易

コストが抑えられる

地域特性の間口が狭い
宅地にも設置できる



同様の施設が増えることで
地域としての統一感が生まれる

トレーラーハウスのメリット

- 建物を建てるより費用が安価
- 移動可能なので土地が借りやすい
- 移動が容易で、営業の支障も少ない
- 取り壊さないなので廃材がでない
- 目新しいので客寄せが期待できる
- 複数配置して統一感が演出できる



出典：LUKURA株

コンテナハウスのメリット

- 建物を建てるより費用が安価
- 建築期間が短い
- 目新しいので客寄せが期待できる
- 複数配置して統一感が演出できる



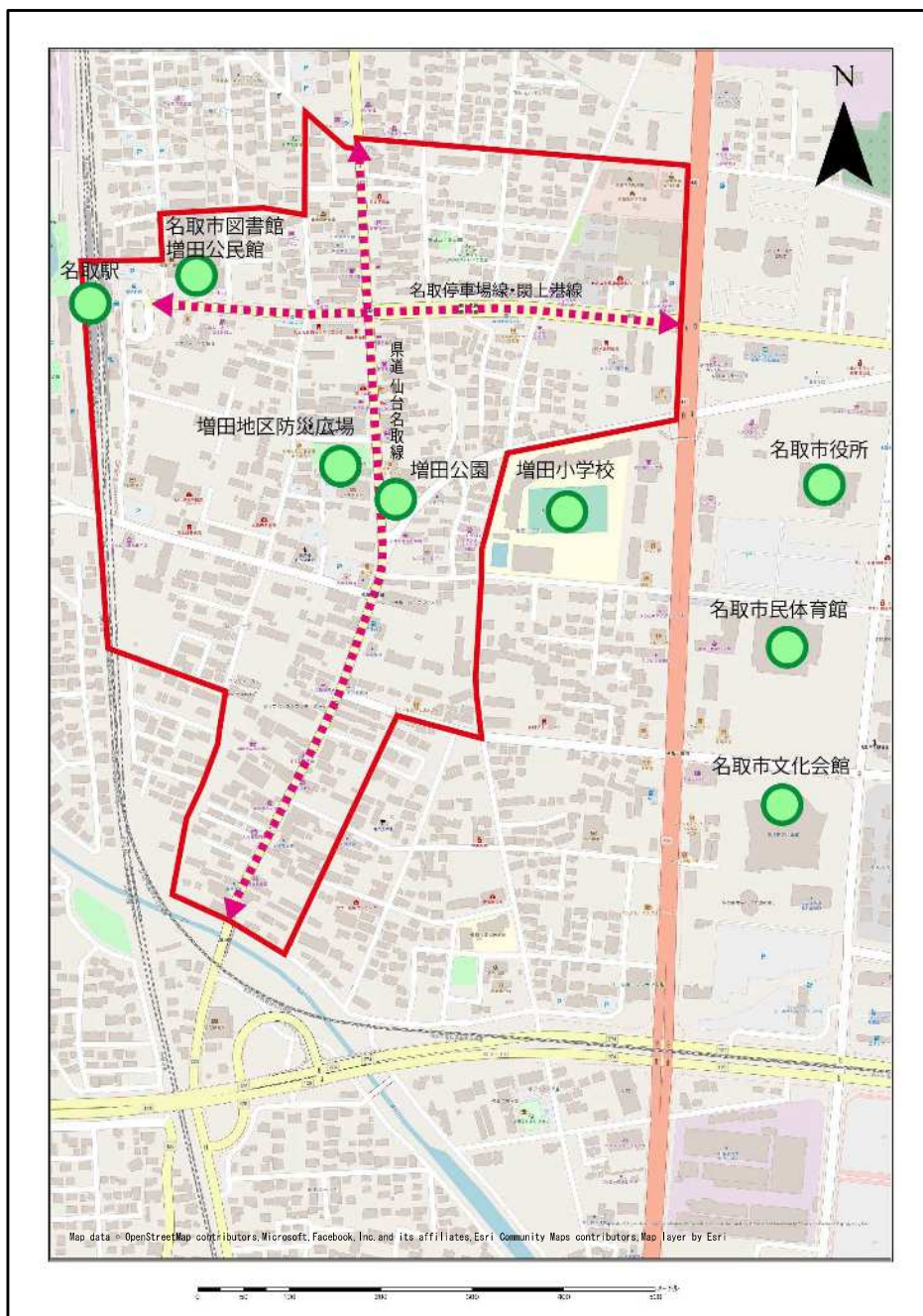
出典：三協フロンティア株

5. 事業展開

(1) 対象区域

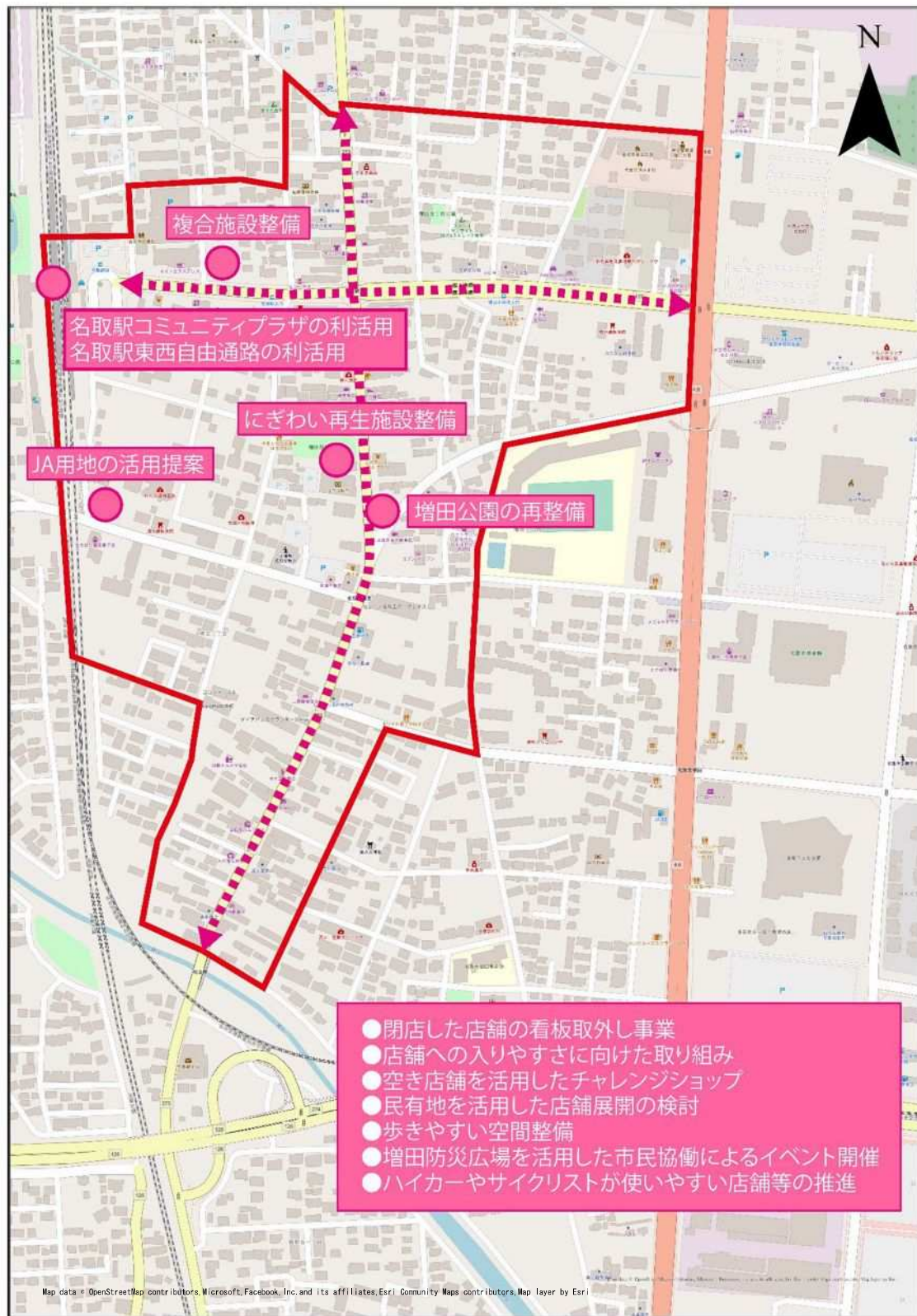
本計画の整備区域は、**名取駅東口駅前の約 35ha を整備区域**とし、駅前通り（県道 名取停車場線・閉上港線）と商店街通り（県道 仙台名取線）を基軸にコンパクトな区域設定で、にぎわい再生事業に取り組みます。

にぎわい再生整備区域（約 35ha）



(2) 事業内容

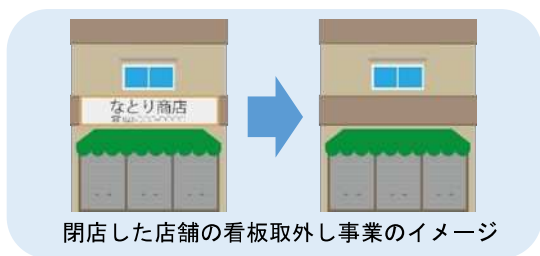
にぎわい再生計画事業



●わかりやすい店舗の周知

○閉店した店舗の看板取外し事業

建物の適切な管理とともに、閉店しても看板がそのままとなっている建物所有者に向けて、店舗看板の取外し協力を求め、商店街のイメージアップに取り組んでいきます。



閉店した店舗の看板取外し事業のイメージ

○店舗への入りやすさに向けた取り組み

今後、空き店舗等を活用したチャレンジショップなどで出店される事業者に向けて、他地区の商店街が実践している店への入りやすさに向けた取り組みを紹介し、実践していただきます。



●空き店舗等の利活用

中心市街地活性化基本計画から引き続き、中心市街地の空き店舗を活用した新しいビジネスに挑戦する創業者の育成支援に取り組めます。本市では、開業に係る店舗の賃借料、改装費、設備費、市場調査費などの一部費用と広告宣伝費の一部を補助することで、中心市街地での出店をサポートし、中心市街地のスプロール化対策とともに、商店街の若返りや地区のにぎわい再生に取り組めます。



●ハイカーやサイクリストが使いやすい店舗等の推進

名取駅前を観光発信基地として、名取駅東地区と市内観光スポットとの連携を図ります。

観光スポットを巡るハイカーやサイクリストが駅前商店街を気軽に利用できるようなサポートを行います。アクティブに行動する観光者があつたらいいなと思える店舗を駅前商店街で推進していきます。



●名取駅コミュニティプラザの利活用

人が集まる場所の拠点となるように、施設の利用規約を見直します。館内での飲食を可能とするなど、学生や名取駅利用者が利用しやすい施設整備を行います。



●名取駅東西自由通路の利活用

名取駅は、本市の陸の玄関口であり、まちな顔です。名取駅利用者に向けて東西自由通路を活用した本市の観光PR活動とともに誰もが使いやすい駅となるように観光案内板や公共施設案内板などの整備を行います。



<p>●増田公園（三角公園）の利活用</p> <p>公園設備の老朽化にともない増田公園のリニューアル工事を行います。園内にキッチンカーサイトや憩いの広場を整備することで、公園利用者の増加をめざします。さらに、商店街のイベント開催時には、イベント会場として活用し、増田地区防災広場や新設のにぎわい再生施設と一体的な活用を図ります。</p> 	<p>●にぎわい再生施設整備</p> <p>旧視聴覚センター跡地に、にぎわい再生施設（商業施設）を整備します。にぎわい再生施設は、隣接する増田地区防災広場と一体的な活用を図り、商業施設と憩いの場が融合する都市空間として整備します。</p> 
<p>●複合施設整備</p> <p>名取駅を利用する観光者に向けて、観光情報を発信する情報発信基地を新たに整備するとともに、観光需要をチャンスに魅力ある商店街の再生に取り組みます。</p> <p>また、グループでも集まれる場所として、施設内での飲食やFree Drinkの提供、Free Wi-Fiを整備するなど、図書館との差別化を図ることで、多くの学生や市民が駅前に集まれる施設として整備します。</p>	<p>●民有地の活用</p> <p>民有地では借地による店舗出店を検討します。店舗は、地域特性である間口が狭い宅地でも設置可能と考えられるトレーラーハウスを用いて計画し、一宅地のなかでも複数配置することで、「統一感」を演出します。</p> <p>民有地を活用した店舗展開は、名取市、名取市商工会、名取まちづくり株式会社の官民協働による事業展開を検討します。</p>
<p>●J A用地の活用</p> <p>J A名取岩沼増田支店に事業協力を依頼して、敷地の一部を活用させていただき事業提案を行います。母ちゃん市とコラボしたマルシェの開催やキッチンカー、トレーラーハウスによる屋台村の設置など、夜間でも駅前が賑わう取り組みを検討していきます。</p> 	<p>●歩きやすい空間整備</p> <p>交通弱者である子どもやお年寄りが安心して歩ける歩行者空間の整備を引き続き取り組んでいきます。</p> 
<p>●イベント開催</p> <p>各種イベントを通じて、学生や子育て世代の親子など、若い世代が自然と名取駅東地区に集まるような魅力ある商店街の再生に取り組んでいきます。</p> 	

(3) 事業指標と目標値の設定

にぎわい再生事業の事業効果を確認するため、事業指標と目標値を設定します。

●事業指標と目標値

事業指標	基準値 平成 30 年 (2018 年)	目標値 令和 12 年 (2030 年)
チャレンジショップ出店数	2 件/年	5 件/年
商店街歩行者数	3,121 人/日	3,433 人/日
中心市街地イベント集客数	600 人	1,800 人

(4) 事業スケジュール

にぎわい再生事業は以下のスケジュールにより実施します。

●事業スケジュール

にぎわい再生事業	前期	後期
閉店した店舗の看板取外し事業	○	○
店舗への入りやすさに向けた取り組み	○	○
空き店舗等の利活用	○	○
ハイカーやサイクリストが使いやすい店舗等の推進	○	○
名取駅コミュニティプラザの利活用	○	○
名取駅東西自由通路の利活用	○	○
増田公園（三角公園）の利活用	○	-
にぎわい再生施設整備	○	-
複合施設整備	○	-
民有地の活用	-	○
J A用地の活用	○	-
歩きやすい空間整備	○	○
イベント開催	○	○

(5) 社会実験

迅速に事業を展開するにあたり、まず社会実験として市有地を活用した施設・店舗の整備を行います。次に社会実験の経験をブラッシュアップしながら民有地（主に借地）による店舗展開を図ります。

事業は、名取まちづくり株式会社と連携しながら事業化に向け、進めていきます。

場所	施設名	実施主体
駅前図書館東側	複合施設	名取まちづくり(株)
旧視聴覚センター	にぎわい再生施設	名取まちづくり(株)
増田公園	増田公園	名取市
名取駅	名取駅コミュニティプラザ・東西自由通路	名取市

●公共施設・市有地を活用した社会実験



(6) 今後の事業課題

本計画では、にぎわい再生に向けて早急に取り組み、効果が期待できる事業を計画しました。

今後も都市を大きく発展させていくためには、土地の整形化や移動、道路の拡幅などができる土地区画整理事業や土地の高度利用を目的とした市街地再開発事業などの面整備も必要と考えます。

今期計画のにぎわい再生事業に取り組む一方で、将来の人口構造や都市構造の課題を見通しながら将来のにぎわい拠点として果たすべき役割に向けて、今のうちから面整備事業に向けた検討も行ない、立地適正化計画も必要に応じて策定していきます。





参 考 资 料

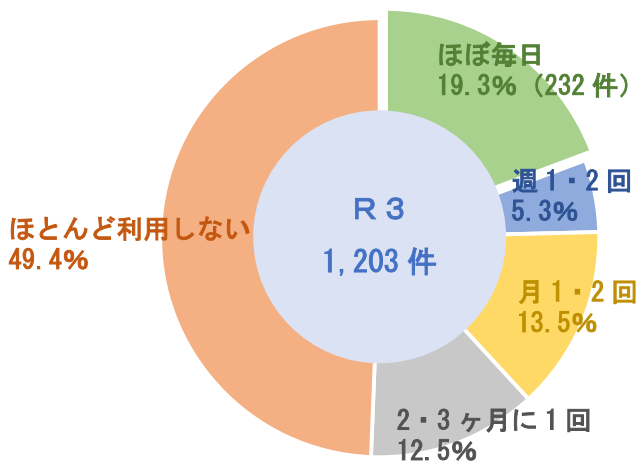
1. アンケートの概要

(1) 市民アンケート

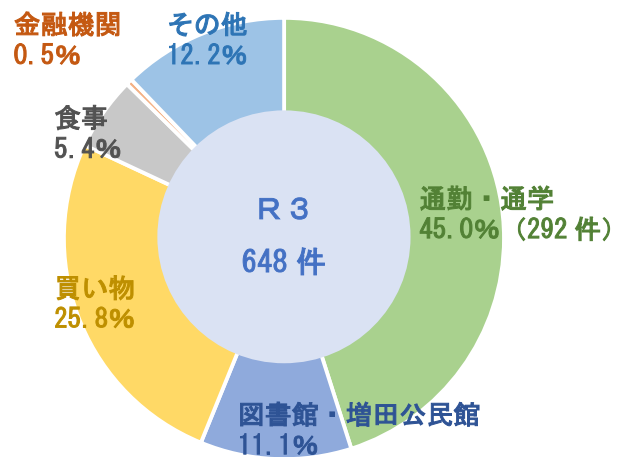
名取駅東地区のにぎわい再生に向けて、令和3年度に市民3,000人を対象に市民意識調査を実施しました。調査は、年齢、性別、居住地を設定した無作為抽出で行い、名取駅の利用状況、普段の買い物先、名取駅前商店街の利用状況などについて調査しました。

アンケートの回収率は、40.2%（回答数：1,205件）でした。

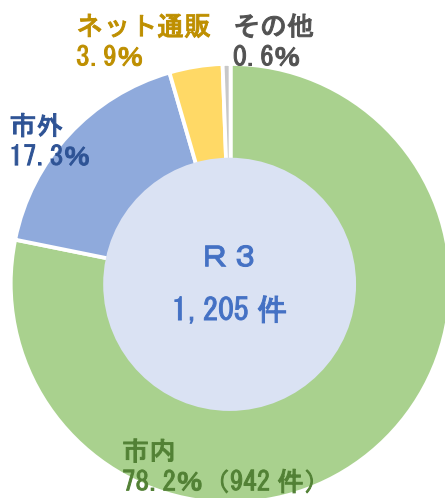
●名取駅の利用頻度



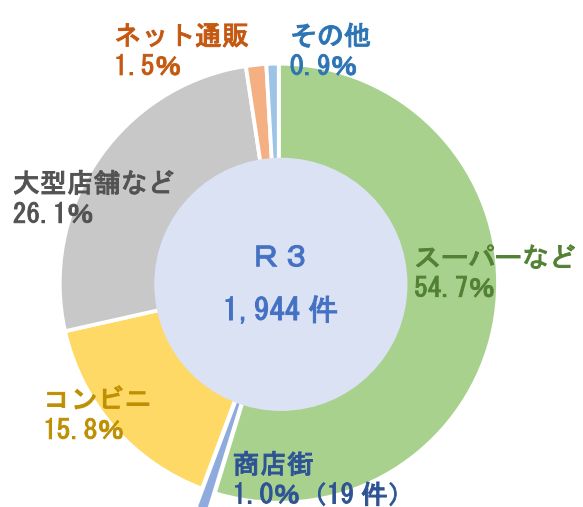
●名取駅を利用する主な目的



●普段の買い物先（市内・市外）

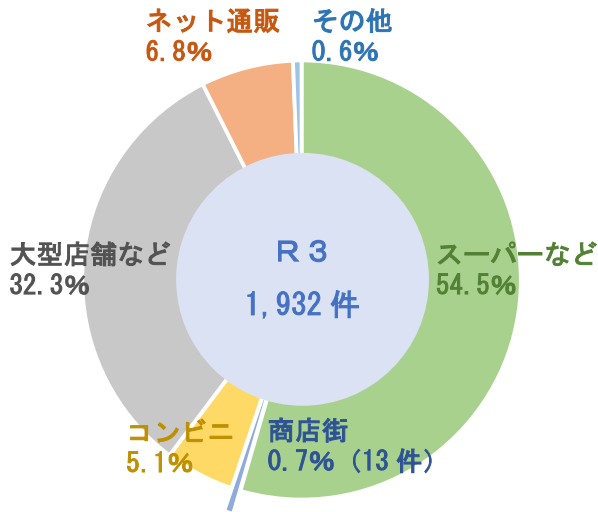


●普段の買い物先（食料品）



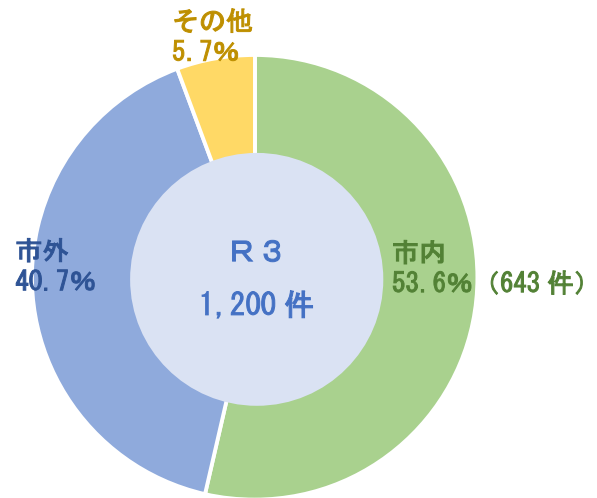
※複数回答

● 普段の買い物先（日用品）

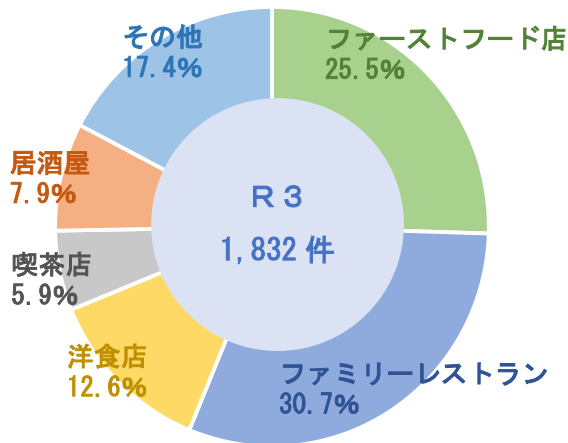


※複数回答

● 普段の外出先（市内・市外）

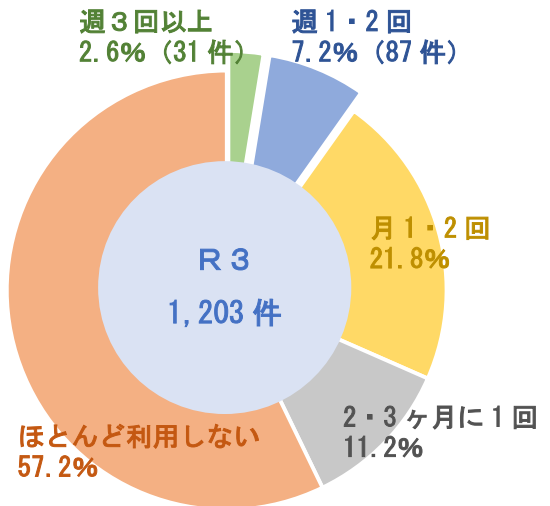


● 普段の外出先（種類）

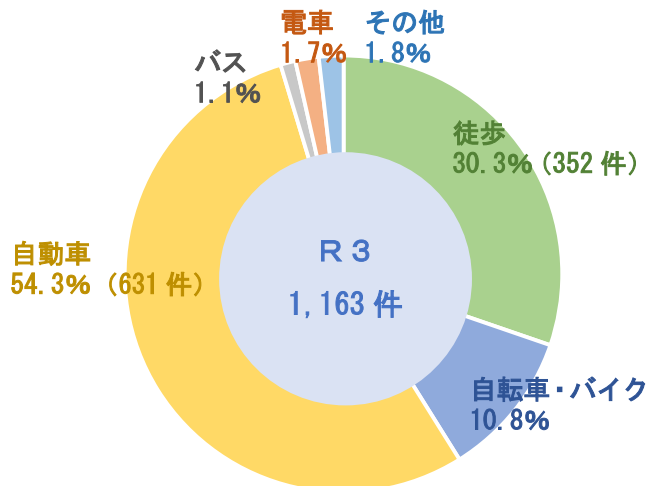


※複数回答

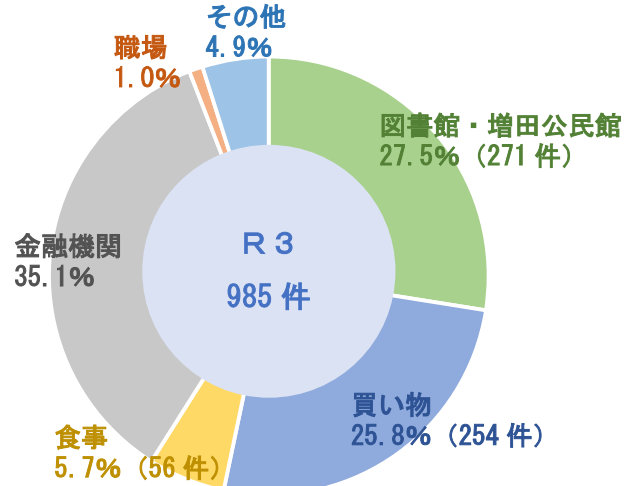
● 名取駅前商店街の利用頻度



● 名取駅前商店街への交通手段

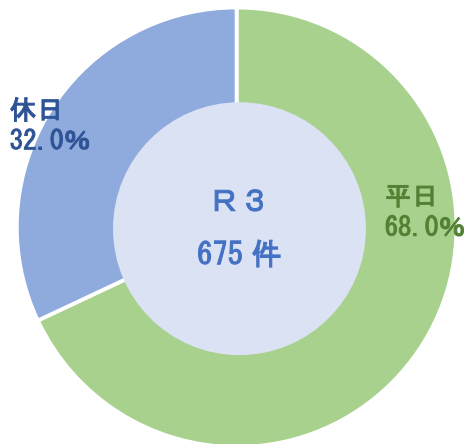


● 名取駅前商店街の利用目的

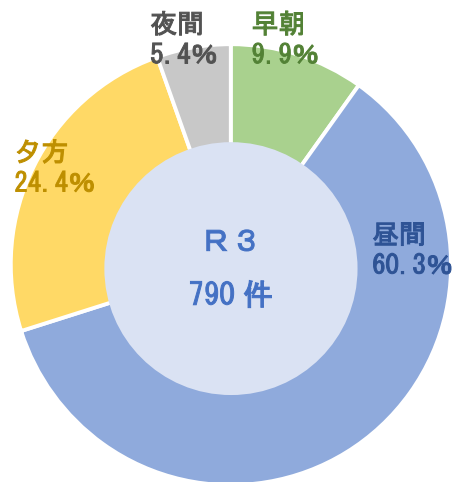


※複数回答

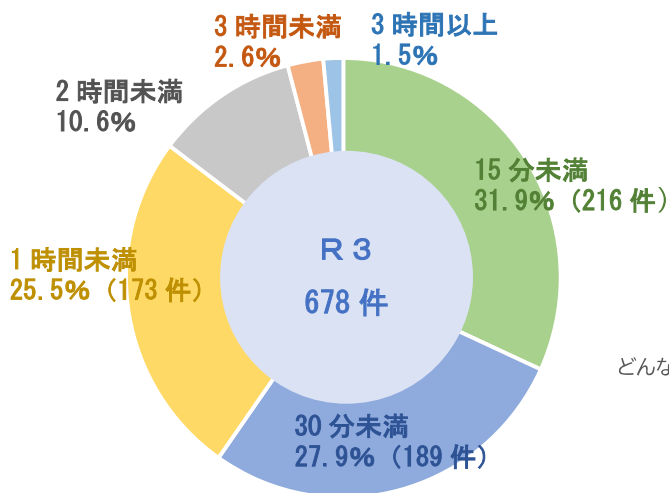
●商店街の訪問日（平日・休日）



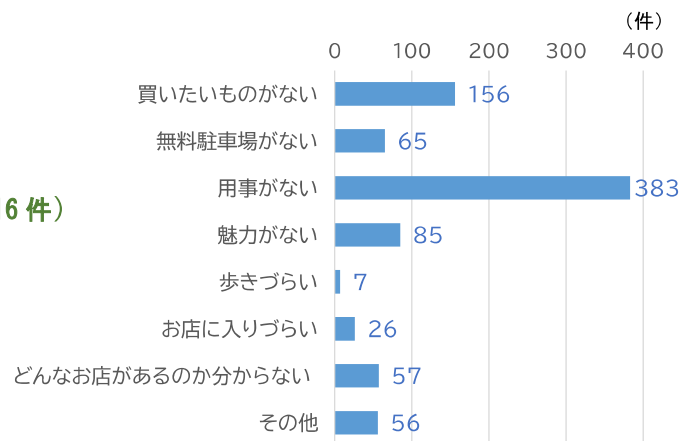
●商店街の利用時間帯



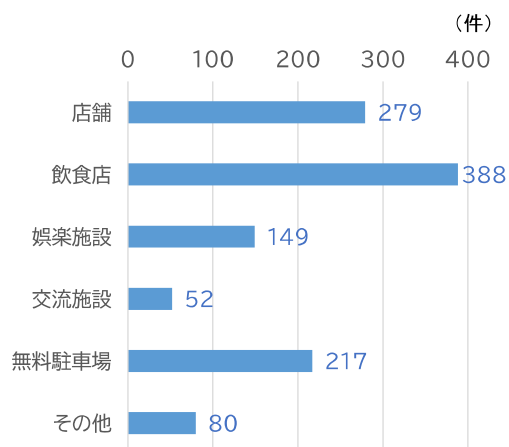
●商店街の滞在時間



●名取駅東地区駅前商店街を利用しない理由



●魅力を高めるために必要な施設

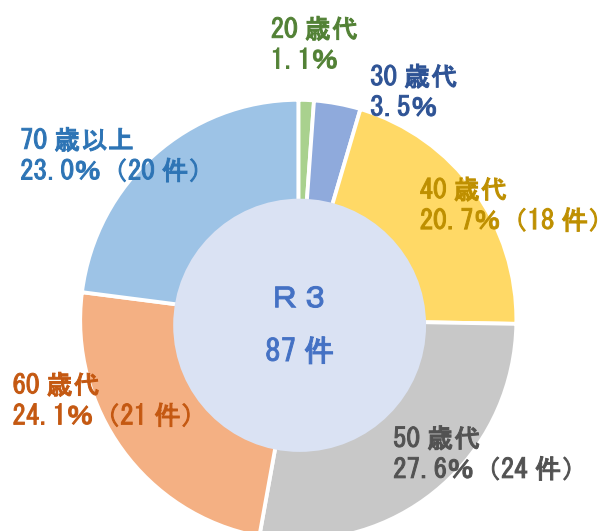


(2) 事業者アンケート

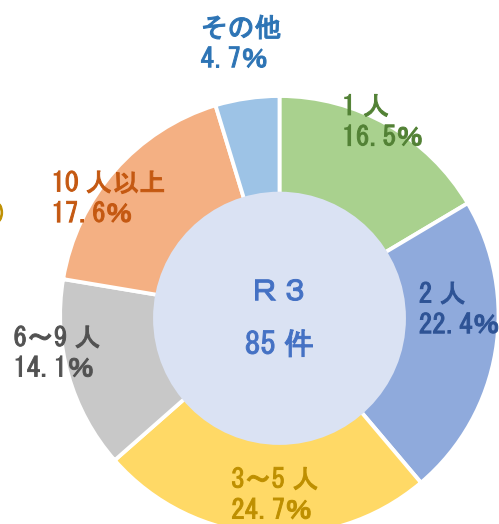
名取駅東地区のにぎわい再生に向けて、令和3年度に市内事業者 291 社を対象に事業所等意識調査を実施し、経営状況、事業後継者の有無、土地・建物の貸出・売却意向などを調査しました。

アンケートの回収率は、30.2%（回答数：88件）でした。

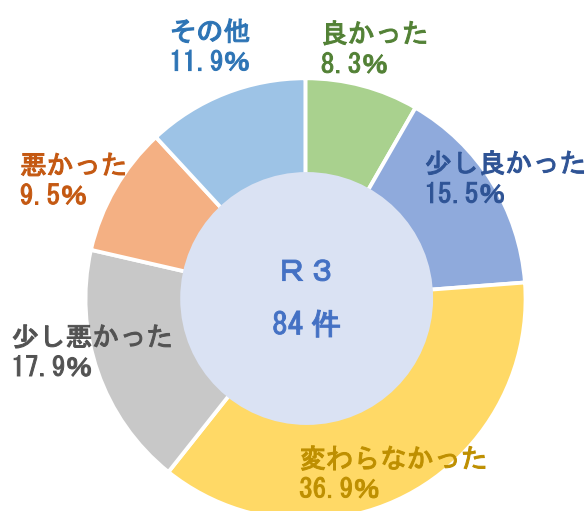
●経営者の年齢



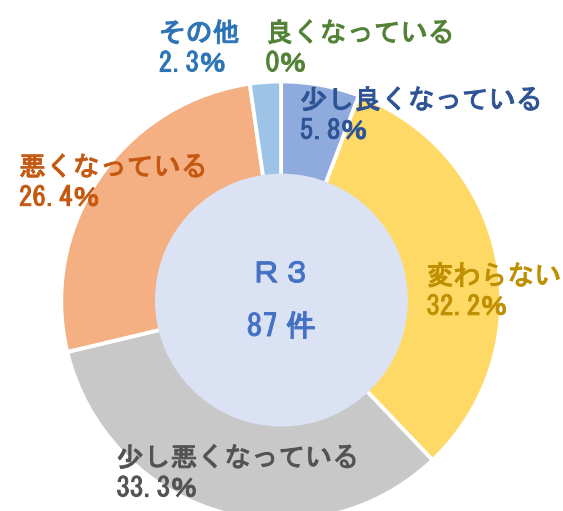
●従業員数



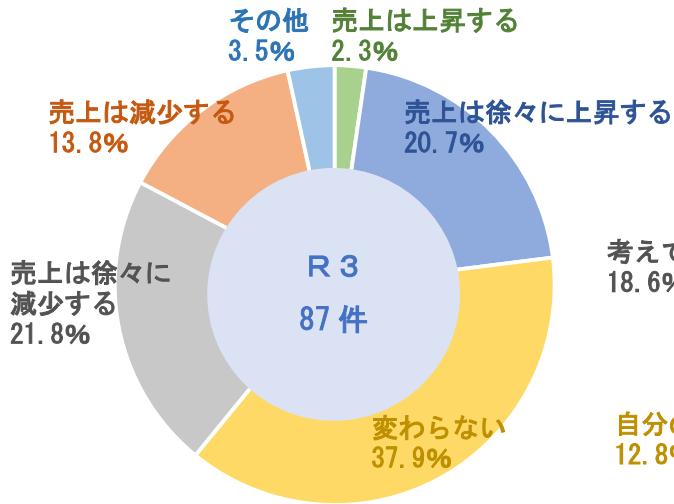
●経営状況（新型コロナウイルス蔓延前）



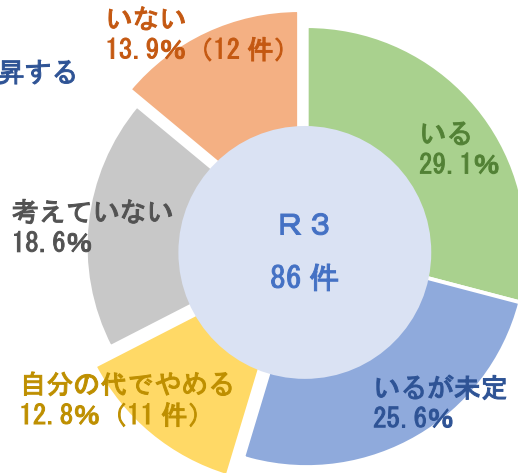
●経営状況（現在）



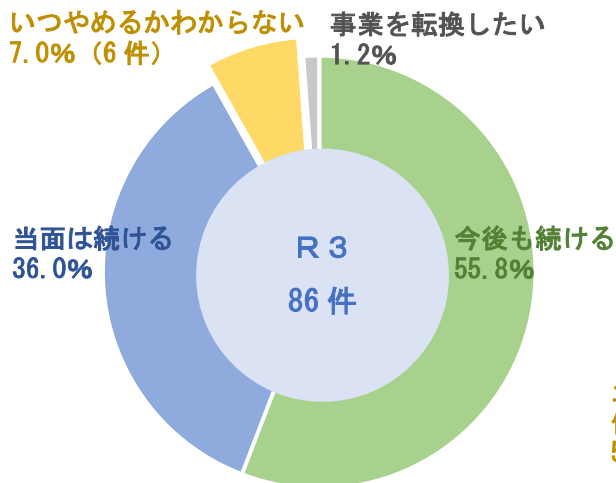
●経営状況（今後の見通し）



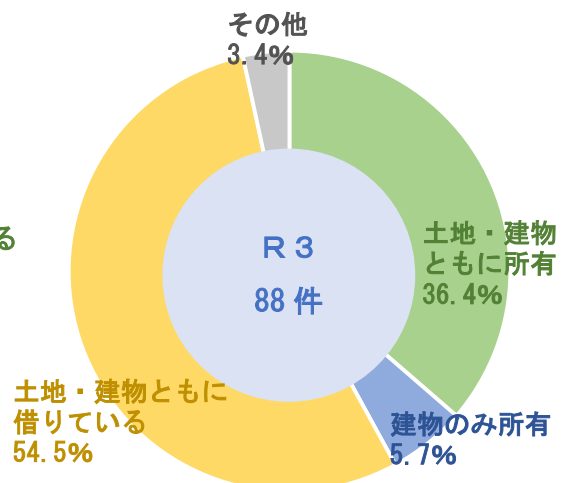
●事業後継者



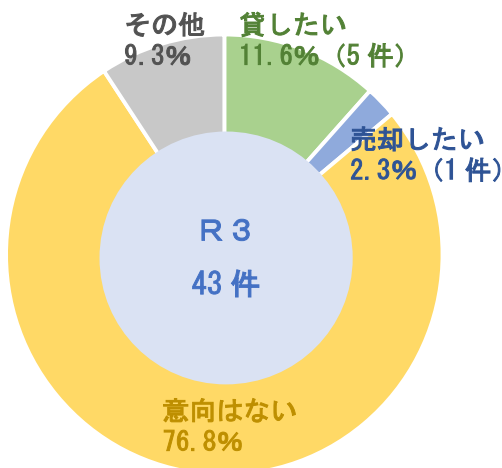
●経営の継続意向



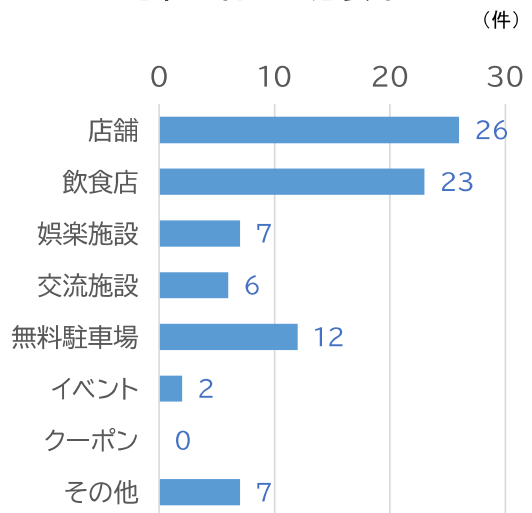
●土地・建物の所有状況



●土地・建物の貸出し・売却意向



●にぎわい再生に必要なもの



2. ワークショップ

(1) 第1回にぎわい再生ワークショップ

第1回にぎわい再生ワークショップでは、地区内の店舗や空き地などの土地利用状況や交通の安全性などの道路整備状況について歩いて確認し、名取駅東地区の状況確認を行いました。

①ワークショップの概要

タイトル：第1回 名取駅東地区をみてみよう

開催日時：令和4年5月22日（日）14：00～16：00

会場：増田公民館4階 研修室1・2

参加者：15名

②ワークショッププログラム

- 開会
- あいさつ
- 事務局紹介
- なぜ中心市街地のにぎわい再生が必要か
- これまでの市の取り組み
- 参加者紹介
- 名取駅東地区視察
- グループディスカッション
- グループ発表
- 閉会

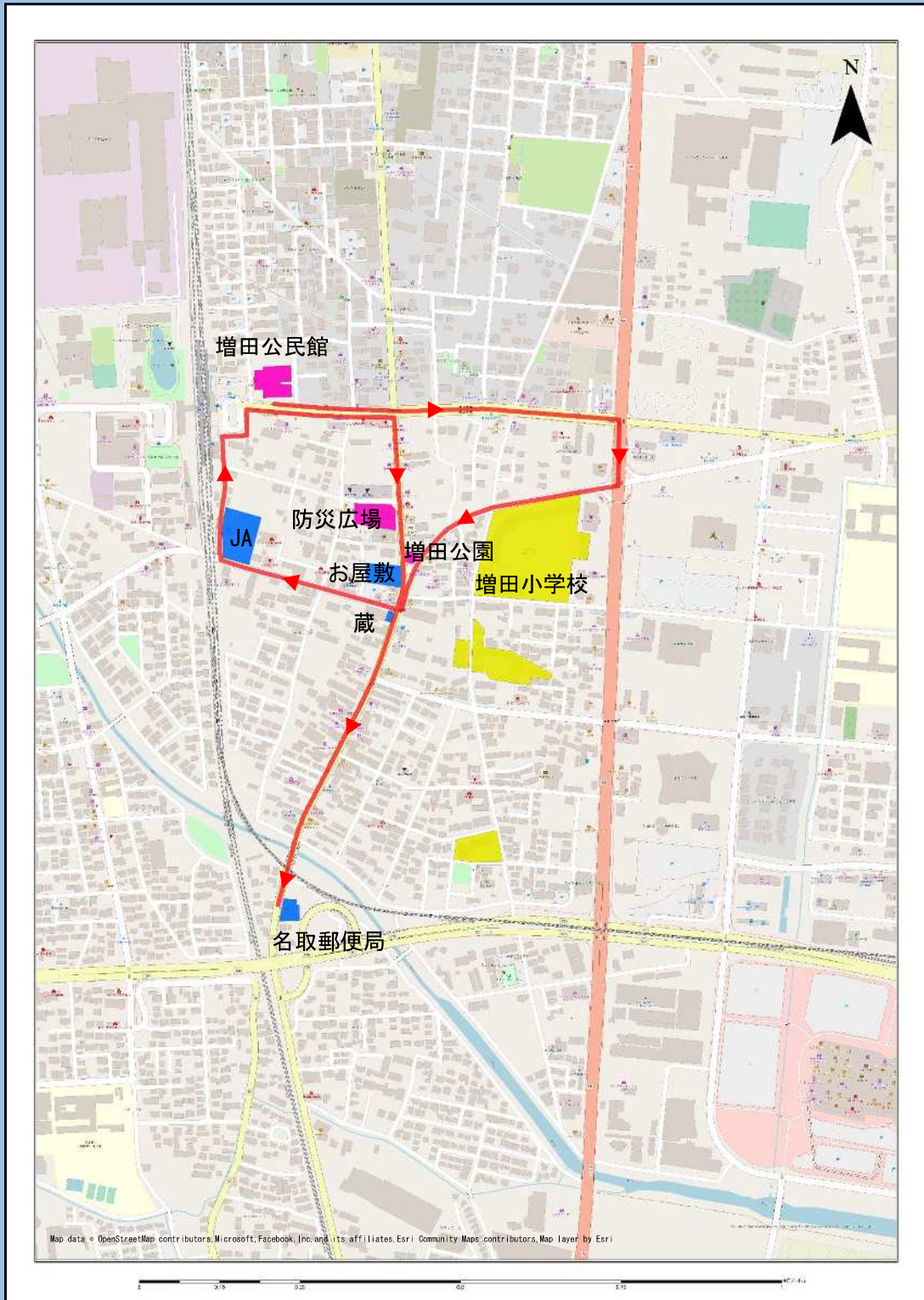
③グループ発表

地区の良いところ、良くないところなど



■名取駅東地区視察ルート

名取駅東地区の現状を把握するため、増田公民館から名取郵便局の区間を歩いて視察しました。



■ 1 班の意見

■ 良いところ

- ・ 防災広場が綺麗に整備されている（ベンチもある）。
- ・ 駅前通り（県道 名取停車場線・閑上港線）は、綺麗に整備されている。

■ 良くないところ

- ・ 人通りが少ない（特に商店街通りは寂しい）。
- ・ 商店街通り（県道 仙台名取線）は、交通量が多く危険。特に増田公園（三角公園）から増田交差点の区間は、小さい子どもも多く歩いている。
- ・ 全体的に空き地が多い。
- ・ 店舗が営業中か分からない。
- ・ 閉店していても看板を下ろしていない店が、暗いイメージを招いている。
- ・ 空き家なのか不明な物件が多い。
- ・ 飲食店が少ない。
- ・ ランチ営業が少ない。
- ・ 夜間営業の店が昼間の活気を無くしている（居酒屋など）。
- ・ 長屋が多い。昔ながらの縦長の物件が多く、土地として使いにくい。
- ・ 防災広場の活用が足りていない（イベント規模と回数）。
- ・ 防災広場の利用者が少ない。
- ・ 人が集まることのできる場所が無い。
- ・ 特に若い世代のたまり場が無い（学生はイオンのフードコートに集まっている）。

■ 要望・提案

- ・ 居酒屋に夜だけでなく、ランチ営業もお願いしたい。
- ・ 防災広場のベンチは更新が必要。
- ・ レンタサイクルを東口にも整備して回遊MAPなどを作り、商店街などと連携してはどうか。
- ・ 人が集まれるたまり場が必要（コミュニティセンター整備）。
- ・ Free Wi-Fi を提供すれば人が集まると思う。



参加者が撮影した視察写真

■ 2班の意見

■ 良いところ

- ・特に意見なし

■ 良くないところ

- ・商店街通りは、駅などへつながる重要な道路であるが、歩道が狭く危ない。
- ・国道4号は歩道が狭く危ない。
- ・駅前通り（国道4号から駅までの区間）にコンビニやスーパー、飲食店などが少ない。
- ・店が無いので仕事や学校帰りに買い物ができない。
- ・市内に働き口が少なく、市外に出勤するケースが多い。

■ 要望・提案

- ・多くの学生が入れて、安心して勉強できる場所がほしい。
- ・Free Wi-Fiなどが整備された居心地の良い施設がほしい。
- ・賑わいと安全のバランスが取れたまちづくり。
- ・点在する駐車場を集約して、お店を増やす（土地の高度利用）。
- ・市内に職場があれば賑わいにつながる。
- ・中心市街地が安全で快適であれば、利用者や定住者の増加につながる。
- ・空き家・空き地を活用して店舗などを誘致してはどうか。



参加者が撮影した視察写真

■ 3班の意見

■ 良いところ

- ・ 商店街通り（北町商店街）は、歩道部の色分けが広く、歩きやすい。

■ 良くないところ

- ・ 商店街通りに歩道が無い。
- ・ 歩道部分に電柱があり、車とのすれ違いに危険を感じる。
- ・ 空き店舗や空き地が多く、寂しい印象を受ける。
- ・ 本町商店街は一軒の間口が広いいため、建物が取り壊されると空き地が広がり、何も無い寂しい印象を受ける。
- ・ 北町商店街は、一軒の間口が狭い。
- ・ 踏切通り（市道 増田野田線）は歩道が狭く、交通量が多いので危ない。

■ 要望・提案

- ・ 歩道に電柱が飛び出していたり、ブロックが出ていたり危ないので整備してほしい。
- ・ 本町商店街は、からあげ屋やフルーツサンド店が出店し、一部賑わっているが、駐車場が狭く、渋滞もするので対策が必要。
- ・ 歩道空間が広くなれば、商店街を歩いてくれる人が増えるのでは。
- ・ 新しいビジネス（事業所・店舗）を呼び込むことが必要。出店を促すために固定資産税の優遇措置などは考えられないか。
- ・ 商店街の裏通りは小学校や子ども園があり、子どもたちが多いエリアなので、住宅街と賑わい事業との折り合いをどう付けていくかが課題。



参加者が撮影した視察写真

■ 4班の意見

■ 良いところ

- ・特に意見なし

■ 良くないところ

- ・駅前通りは、まちの顔であり、メインストリートであるのに人通りが少ない。
- ・商店街通りは、交通量は多いのに歩道が無いので、歩きにくく、安心できない。
- ・空き店舗が多い。
- ・歩行者が少ない。
- ・小学校通りは、側溝のフタに段差があり、危険な状況（怪我をした小学生もいると聞いた）。
- ・増田小学校の正門前は凹凸があり、歩きにくい。
- ・踏切通りは、電柱があり、歩きにくい。

■ 要望・提案

- ・駅前に図書館が整備されて人が集まっているので、その人達を賑わいの対象にできないか。
- ・歩道整備など、事業効果が見込めるものを優先して整備してはどうか。
- ・商店街通りを歩行者天国にできないか（時間帯規制でも可）。



参加者が撮影した視察写真



(2) 第2回にぎわい再生ワークショップ

第2回にぎわい再生ワークショップでは、理想の中心市街地（商店街）について話し合いを行うとともに、名取市の良いところ、名取駅東地区に足りないものなどについて議論しました。

①ワークショップの概要

タイトル：第2回 名取駅東地区の課題

開催日時：令和4年6月26日（日）14：00～16：00

会場：増田公民館4階 講義室

参加者：10名

②ワークショッププログラム

- 開会
- あいさつ
- 前回のおさらい
- 理想の中心市街地のイメージとは
- 名取市の良いところとは
- 名取駅東地区に足りないものとは
- グループディスカッション
- グループ発表
- 閉会

③グループ発表

理想の中心市街地（商店街）のイメージや名取市の良いところ、名取駅東地区に足りないものなど



■ 1 班の意見

■理想の中心市街地のイメージ

商店街の分類	意見
アーケード型商店街 ・歩行者専用道路 ・店舗専用	●良くないところ ・日常の買い物に向いていない ・生活必需品が購入できない ・整然としすぎており、気楽に利用できない
市場型商店街 ・歩行者専用道路 ・店舗専用	●良いところ ・車が通らない、歩行者天国（歩いて安全・安心に買い物ができる） ・お店の人も利用客も、お互いの顔が見えてコミュニケーションが取りやすい ・店舗が連なっており雰囲気が良い ・日常のちょっとした買い物ができる ・食べ歩きしやすい
街道沿い商店街 ・歩車分離道路 ・店舗兼住宅	意見なし

■名取市の良いところ

- ・小学校から高専、大学まであり、住みやすい
- ・食べ物や特産品が多い。特にラーメンは激戦区である

■名取駅東地区に足りないもの

- ・名取駅構内に案内板が無い
- ・観光者向けのお土産店が無い
- ・時間をつぶせる場所が無い
- ・ラジオ局
- ・公民館1階の利活用（「なとらじ」を誘致してはどうか）
- ・防災広場を活用したイベント（ライトアップなど）

■ 2班の意見

■ 理想の中心市街地のイメージ

商店街の分類	意見
アーケード型商店街 ・歩行者専用道路 ・店舗専用	● 良いところ ・車を気にせず買い物できる ・特色が出やすい、各店舗が特徴を出しそう ● 良くないところ ・商店街運営費が高い
市場型商店街 ・歩行者専用道路 ・店舗専用	● 良いところ ・賑やかな感じ ・自動車の乗り入れ規制があって歩きやすい ● 良くないところ ・住居としては、落ち着かない ・人口が多くいないとできない
街道沿い商店街 ・歩車分離道路 ・店舗兼住宅	● 良いところ ・住んでいる人の顔が見える ● 良くないところ ・駐車場が無いと車で行きにくい ・地元志向が強い

■ 名取市の良いところ

- ・自然が豊かで良い
- ・交通アクセスが非常に良い
- ・仙台市に近い

■ 名取駅東地区に足りないもの

- ・人を集められる店舗
- ・名取の情報を発信できる場所
- ・地区や商店街のコンセプトや統一感

■ 3班の意見

■ 理想の中心市街地のイメージ

商店街の分類	意見
アーケード型商店街 ・ 歩行者専用道路 ・ 店舗専用	● 良いところ ・ 気軽にふらっと行ける ・ 流行や新商品の情報収集ができる
市場型商店街 ・ 歩行者専用道路 ・ 店舗専用	● 良いところ ・ 人との距離間がよい（空間的・心理的） ・ 見せる売り方をしている ・ 店から買い物客への声掛けがある ・ 店に入りやすい雰囲気がある ・ 商店街として統一感がある
街道沿い商店街 ・ 歩車分離道路 ・ 店舗兼住宅	● 良くないところ ・ 商店街に何の店があるか分かりにくい ・ 目的がないと行かない ・ 店に入りにくい

■ 名取市の良いところ

- ・ 海も山もある観光地
- ・ 高速道路がある（どこにでも行ける）
- ・ 鉄道駅がある
- ・ 子どもと遊べる、子どもと過ごせる施設がある

■ 名取駅東地区に足りないもの

- ・ 子ども用の屋内運動施設がほしい（さくらんぼタントクルセンター（山形県東根市））
- ・ 明るい雰囲気
- ・ 情報発信

■ 4 班の意見

■ 理想の中心市街地のイメージ

商店街の分類	意見
アーケード型商店街 ・歩行者専用道路 ・店舗専用	● 良いところ ・アーケードがあるので、天候に左右されない ・車が入ってこないのが安全 ・建物に統一感があり、景観が良い ・夏は涼しく、冬は暖かい ● 良くないところ ・日用品の買い物巡りができない ・人と人のふれあいが少ない
市場型商店街 ・歩行者専用道路 ・店舗専用	● 良いところ ・人通りが多く、活気がある ・人とのふれあいがある ・車が入ってこないのが安全 ● 良くないところ ・買うものが限定される(目的を持って行く必要がある) ・駐車場が無い
街道沿い商店街 ・歩車分離道路 ・店舗兼住宅	● 良くないところ ・買い物客用の駐車場が無い ・建物に統一感が無い ・人通りが少ない ・交通量が多く、安全性に欠ける

■ 名取市の良いところ

- ・鉄道の利便性が良い
- ・高速道 IC が複数あり、仙台空港も近く、交通全般の利便性が良い
- ・海や山の食材に恵まれている
- ・特にホヤ、セリは名取産が一番美味しいと思う
- ・雷神山古墳や熊野那智神社などの歴史文化資源がある

■名取駅東地区に足りないもの

- ・駅前広場や公園などの人が集まる場所
- ・駅周辺や商店街利用者に向けた市営駐車場
- ・人が集まれる商業施設
- ・屋台村のような商業施設





(3) 第3回にぎわい再生ワークショップ

第3回にぎわい再生ワークショップでは、にぎわい再生の方向性や手法について議論しました。

①ワークショップの概要

タイトル：第3回 地域連携とまちづくり

開催日時：令和4年7月24日（日）14：00～16：00

会場：増田公民館4階 講義室

参加者：11名

②ワークショッププログラム

- 開会
- あいさつ
- 地域連携3つのイメージ
- 前回のおさらい
- にぎわいとは？
- まちづくりの方向性（案）の紹介
- グループディスカッション
- グループ発表
- 閉会

③まちづくりの方向性（案）の紹介

トレーラーハウスを活用した店舗展開

④グループ発表

交流施設の果たすべき役割、トレーラーハウスを活用したにぎわい再生



■まちづくりの方向性（案）の紹介

これまでのワークショップを通じて、名取駅東地区は、空き家、空き店舗、空き地が多く、買い物をする店舗が無い。人が集まれる場所が無いなどの意見を多く聞きました。

また、理想の中心市街地イメージでは、市場型商店街に対する好感度が高く、商店街としての統一感や店舗が連なる雰囲気や活気、人との距離感などが選ばれた理由に挙げられています。

賑わいとは、活気や陽気、繁盛など、プラスのエネルギーを含むものであり、中心市街地や商店街においては、「人の集まりによる賑やかさ」や「商売による活気」が必要と考えます。

名取市は多くの学校施設を有していますが、駅前に集まれる場所が無いため、学生は郊外の大型商業施設に放課後集まっているとの話も聞きます。

そこで、名取駅東地区では「人の集まり」による活気や勢いから、賑わいを再生し、地域経済の活性化に取り組むことを提案します。また、面整備や市街地再開発事業によるまちづくりは権利者の合意形成など事業化までに長い時間を要します。このため、フットワーク軽く、短期間で事業化できる事業との両立と、デザイン性が高く、統一感も演出できるトレーラーハウスなどによる店舗展開を検討するものとししました。

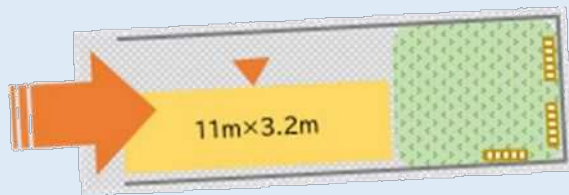


出典：LUKULA(株)

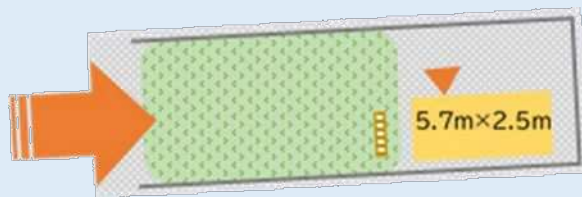
■配置シミュレーション（1案）



出典：国土地理院撮影の航空写真（2019年撮影）
敷地規模：20m×8m
※図上による距離測定
※配置シミュレーションは、地区内の空き地を無作為に抽出して検討したもので、実際に整備するものではありません。



- トレーラーハウスは大型（11m×3.2m）のものを配置
- 店舗裏に集まれる場所としてポケットパークを整備

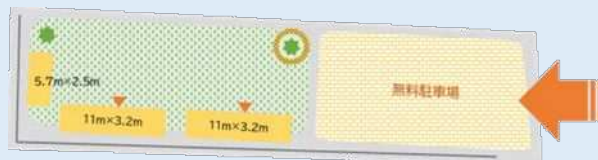


- トレーラーハウスは小型（5.7m×2.5m）のものを配置
- 敷地前面に集まれる場所としてポケットパークを整備（店舗一体利用）

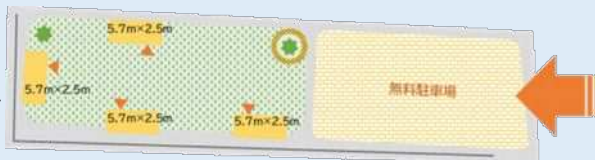
■配置シミュレーション（2案）



出典：国土地理院撮影の航空写真（2019年撮影）
敷地規模：56m×13m
※図上による距離測定
※配置シミュレーションは、地区内の空き地を無作為に抽出して検討したもので、実際に整備するものではありません。



- 無料駐車場を整備し、店舗エリアは芝生貼り
- トレーラーハウスは大型（11m×3.2m）と小型（5.7m×2.5m）のものを配置

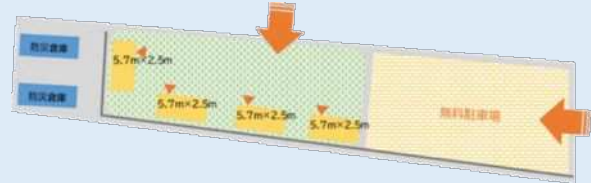


- 無料駐車場を整備し、店舗エリアは芝生貼り
- トレーラーハウスは小型（5.7m×2.5m）のものを配置

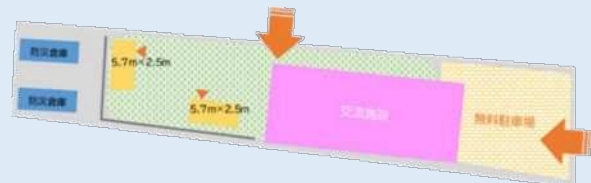
■配置シミュレーション（3案）



出典：国土地理院撮影の航空写真（2019年撮影）
敷地規模：61m×13m
※図上による距離測定
※旧視聴覚センターの用地を活用し、増田地区
防災広場と一体利用を検討。



- 無料駐車場を整備し、増田地区防災広場を拡大
- トレーラーハウスは小型（5.7m×2.5m）のものを複数設置

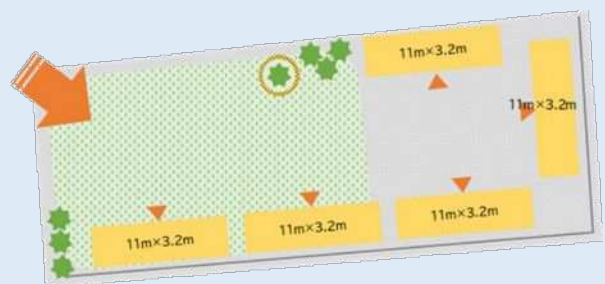


- 無料駐車場を整備し、増田地区防災広場を拡大
- 交流施設を整備（施設用途はワークショップにて検討）
- トレーラーハウスは小型（5.7m×2.5m）のものを複数設置

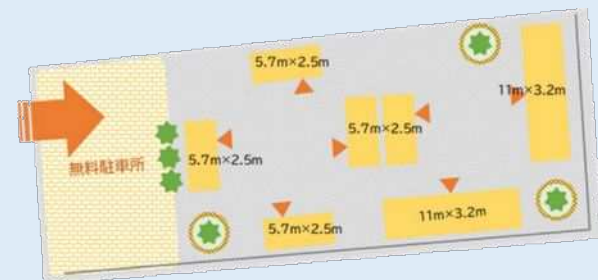
■配置シミュレーション（4案）



出典：国土地理院撮影の航空写真（2019年撮影）
敷地規模：43m×17m
※図上による距離測定
※配置シミュレーションは、地区内の空き地を
無作為に抽出して検討したもので、実際に整備
するものではありません。

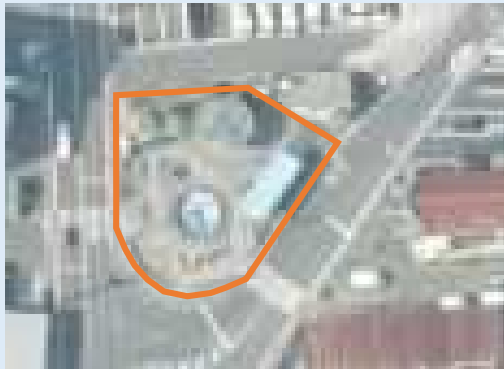


- 道路を隔てた増田地区防災広場と一体的な活用
- トレーラーハウスは大型（11m×3.2m）のものを設置

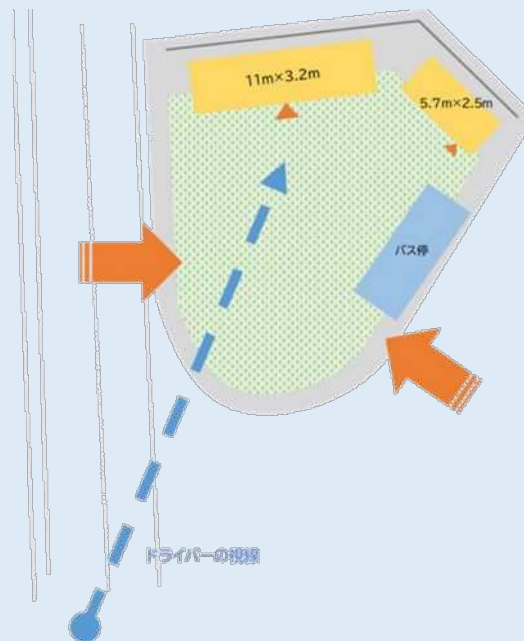


- 無料駐車場を整備
- トレーラーハウスは大型（11m×3.2m）と小型（5.7m×2.5m）のものを設置

■配置シミュレーション（5案）



出典：国土地理院撮影の航空写真（2019年撮影）
※増田公園（三角公園）の再整備を検討。



- 県道からのアイキャッチやランドマークとして増田公園（三角公園）を再整備
- トレーラーハウスは大型（11m×3.2m）と小型（5.7m×2.5m）のものを設置

■ 1 班の意見

■ 交流施設の果たすべき役割

コンセプト	JIMOTO HASSIN 基ッ地ん
施設機能	・ フードコート（地元の食材を使った飲食店） ・ 店舗（特産品） ・ ラジオ局

● コンセプト紹介

- ・ 観光客向けというよりも、「地元の人に向けた施設をメイン」が前提。
- ・ 地元の食材や美味しいものを地元の人にもっと知ってもらいたい。あるいは、知る機会が少ないので、そういった場所を作るべきと考えた。
- ・ 地産地消をキーワードに、食育にもつながる施設が良い。
- ・ 同時に、観光客が来ても地元の良さを知ってもらえる良いきっかけになる。
- ・ これらから、地元の魅力を発信する「基地」と食材を扱うため「キッチン」を掛けて、『JIMOTO HASSIN 基ッ地ん』とした。

● 施設機能紹介

○ フードコート

- ・ 道の駅から着想した。
- ・ 規模はそこまで大きくなく、2～3店舗あればよいと考えた。
- ・ イオンとの差別化の意味合いも含め、フードコート内の店舗は地元の食材を使ったお店や特産品も買える店舗などを想定した。
- ・ 重要な点は、フードコートはフリースペースも兼ねていること。飲食店であれば、食べ物を購入しなければならないが、フードコートとすることで、学生などがお金を使わなくても自由に利用できる空間となる。
- ・ 良い勉強空間になるよう、充電スポットやカウンター席などもあるとよい。

○ ラジオ局

- ・ 地元の良さを発信する拠点が必要と考え、ラジオ局とした。
- ・ 交流施設の一階に配置して、ガラス越しに外から見えるような形が理想。子どもたちの興味を引くきっかけにもなると考えた。

■トレーラーハウスによるにぎわい再生

コンセプト	JIMOTO HASSIN 基ッ地ん
施設機能	<ul style="list-style-type: none">・ 広場（BBQ 場、農園）・ マルシェ（手作り市）・ 市内の既存店舗を誘致・ チャレンジショップ（高校生）

●コンセプト紹介

- ・ 観光客向けというよりも、「地元の人に向けた施設をメイン」が前提。
- ・ 地元の食材や美味しいものを、地元の人にもっと知ってもらいたい。あるいは、知る機会が少ないので、そういった場所を作るべきと考えた。
- ・ 地産地消をキーワードに、食育にもつながる施設が良い。
- ・ 同時に、観光客が来ても地元の良さを知ってもらう良いきっかけになる。
- ・ これらから、地元の魅力を発信する「基地」と食材を扱うため「キッチン」を掛けて、『JIMOTO HASSIN 基ッ地ん』とした。

●機能紹介

- ・ 広場ではBBQができるようにしたい。管理の問題もあるため、焼き台などを設置しておき、予約制の有料が望ましい。
- ・ 小さい農園（図：ファーム）を作り、そこで収穫体験や新鮮な野菜を提供したい。

●店舗紹介

- ・ 地元の既存店を誘致する。
- ・ トレーラーハウスを活用したマルシェ（手作り市）のような店舗展開を考えた。
- ・ 地元の人にはトレーラーハウスを低料金で利用可能とする。
- ・ 高校生が運営するチャレンジショップも展開する。

●配置紹介

- ・ まず、駐車場の有無を検討し、ある程度の台数は必要と考えた。
- ・ 道路側からトレーラーハウスなどが見えるように駐車場を一番奥に配置して、手前に広場を配置した。

●その他

- ・防犯面を考えて、一店舗は深夜まで営業してほしい。



■ 2 班の意見

■ 交流施設の果たすべき役割（1/2）

コンセプト	分かりやすい情報発信
施設機能	・メディア発信（ラジオ、動画、素人向けスタジオ…）

●コンセプト紹介

- ・ここに来れば名取の情報すべてが分かる施設（発信する場所）。

●施設機能紹介

- ラジオ局
 - ・ラジオで情報を発信する。
- 動画配信スタジオ
 - ・動画で配信する（YouTube など）。
- 店舗情報や観光情報
 - ・お店のチラシや観光ガイドブックを置いて情報を発信する。

■ 交流施設の果たすべき役割（2/2）

コンセプト	初めて名取にふれる場
施設機能	・名取のお土産

●コンセプト紹介

- ・名取市の玄関口として、名取市の食材や文化などに最初に触れてもらい魅力を感じてもらえるようにしたい。

●施設機能紹介

○店舗・飲食店

- ・名取のお土産が買える店（名取駅東地区にお土産を買える店が無い）。
- ・名取の食材を使ったレストラン。

○体験イベント

- ・名取を体験できるイベント（味噌作りなど）。

■トレーラーハウスによるにぎわい再生

コンセプト	屋台村みたいな集える場所
施設機能	<ul style="list-style-type: none">・テイクアウト・映写（試合とか）・テラス席・ジャンル色々・チョイ飲み・ゆっくりできる・ペットと一緒に

●コンセプト紹介

- ・昼も夜も人が気軽に集まれる場所。

●機能紹介

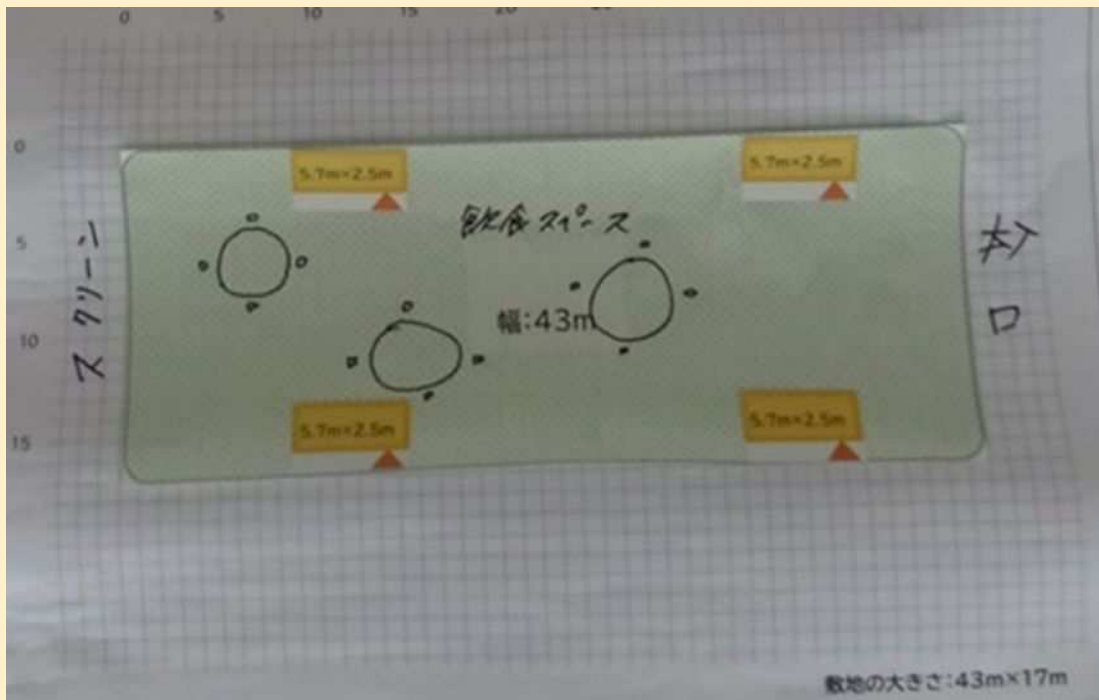
- ・一面芝生のゆっくりできる場所。
- ・ペットと一緒にくつろげる場所。

●店舗紹介

- ・色々な種類の飲食店（食事、カフェ、お酒）を配置する。
- ・チョイ飲みができて、一部は夜でも営業。

●配置紹介

- ・敷地を囲うように店舗を配置し、敷地の真ん中をフードコートとする。
- ・入口正面の壁またはスクリーンにスポーツなどの映像を映して観戦する。



■ 3・4班の意見

■ 交流施設の果たすべき役割

コンセプト	集まれる場所づくり（学生・地域の人）、後継者の確保
施設機能	・ 集まれる場所（フードコートなど） ・ 飲食店（軽食）

● コンセプト紹介

- ・ 高校生や地域の人を街なかに集め、留めたい。
- ・ 増田地区で頑張っていく人（起業）を支援したい。

● 施設機能紹介

- ・ フードコートに軽食を扱う店を複数整備する。
- ・ フードコートは飲食店利用者だけでなく、地域に開放して誰でも使えるようにする。
- ・ Free Wi-Fi を整備して人が集まりやすい環境を整える。

■ トレーラーハウスによるにぎわい再生

コンセプト	集まれる場所づくり（学生・地域の人）、後継者の確保
施設機能	・ マルシェ ・ 屋台ラーメン ・ スイーツ（ジェラート） ・ カフェ ・ 農産物（「母ちゃん市」の地域展開） ・ 学生店舗

● コンセプト紹介

- ・ 高校生や地域の人を街なかに集め、留めたい。
- ・ 増田地区で頑張っていく人（起業）を支援したい。
- ・ 教育の一環として学生が運営する店舗を作り、名取市への愛着や将来の担い手を育成する。

●機能紹介

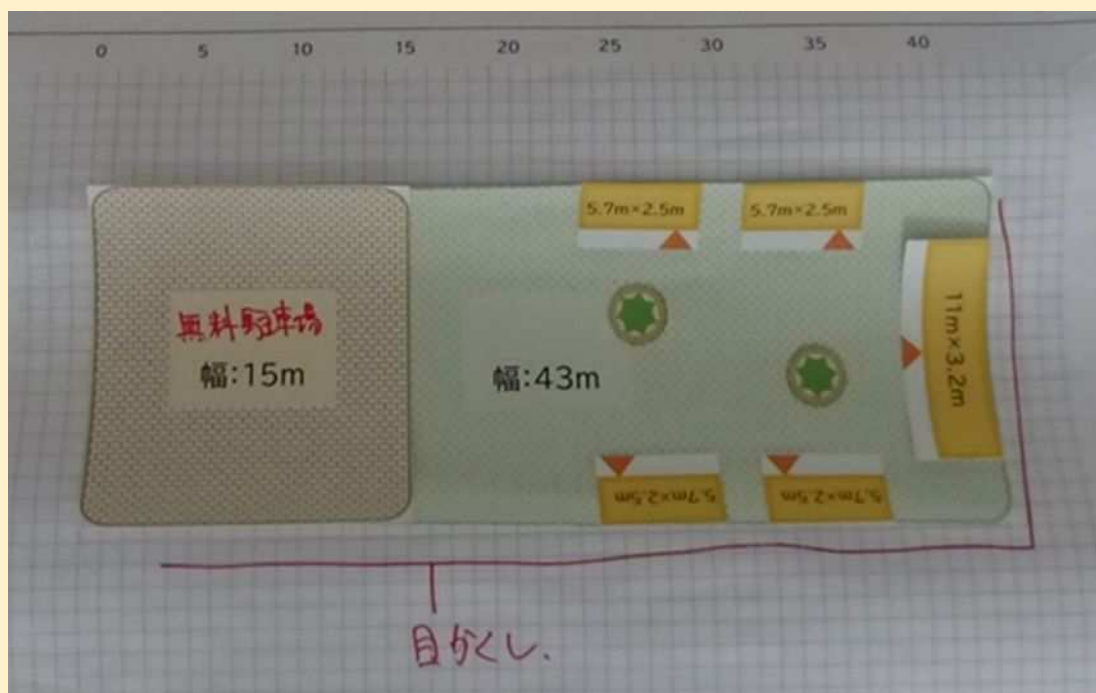
- ・ 地域の人に来てもらえるように無料駐車場を整備する。
- ・ 芝生の上でくつろげる空間を演出する（イメージは南池袋の公園）。
- ・ Free Wi-Fi を整備して人が集まりやすい環境を整える。

●店舗紹介

- ・ 学生受けするカフェやスイーツの店を整備する。
- ・ 一か所にラーメン店を複数配置してラーメンの屋台村を整備する。
- ・ JAの「母ちゃん市」を地域に展開して、農産物を扱う店舗を整備する。
- ・ マルシェのような店舗展開。

●配置紹介

- ・ 道路沿い（入口）に無料駐車場を整備して、地域の人が車でも気軽に来られるようにする。
- ・ 賑わい空間を演出するため、周囲の建物が見えないように塀を立てて目隠しをする。
- ・ 芝生に座り込んで、くつろげる空間を整備する。
- ・ 敷地の広さ（奥行）を見せるとともに、道路から目立つように大きなトレーラーハウス（11m）を敷地奥に配置する。





(4) 第4回にぎわい再生ワークショップ

第4回にぎわい再生ワークショップでは、今後の事業展開と回遊ルートの検討について議論しました。

①ワークショップの概要

タイトル：第4回 回遊とまちなか交流

開催日時：令和4年10月2日（日）14：00～16：00

会場：増田公民館4階 研修室1・2

参加者：10名

②ワークショッププログラム

- 開会
- あいさつ
- 前回のおさらい
- 今後の事業展開
- 学生懇談会開催報告
- 回遊とまちなか交流
- グループディスカッション
- グループ発表
- 閉会

③今後の事業展開

人の賑わいから地域の活性化をめざす

④グループ発表

にぎわい再生に向けたターゲット、回遊ルート



■今後の事業展開

名取駅東地区のにぎわい再生は、コンテナハウスやトレーラーハウスを活用した店舗展開などにより、若者が集まれる場所を作り、人の賑わいから地域の活性化をめざします。



■展開の方針

第1段階：社会実験（市有地を活用）

第2段階：民有地に展開

関連事業：空き家・空き店舗の活用

Map data © OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates, Esri Community Maps contributors, Map layer by Esri

■複合施設の整備イメージ



出典：三協フロンティア株

- 情報発信基地（なとらじ、観光案内）
- グループで集まれる場所（図書館と差別化）

- ・Free Wi-Fi の整備
- ・飲食可能・持ち込み可能
- ・無料ドリンクの提供

※図書館東側の空き地（市有地）に整備を検討します。

■名取駅コミュニティプラザ（ウイングプラザ）の整備イメージ



- ・Free Wi-Fi（整備済）
- ・冷暖房完備（整備済）
- ・1F 会議室利用で駐車場無料（5時間）
- ・飲み物可・持ち込み可（見直し）

※将来的にリノベーションも検討します。

■飲食店・店舗の整備イメージ



出典：LUKURA(株)

●カフェ・飲食店

- ・昼食や学校帰りに立ち寄れる場所
- ・男女問わず立ち寄れるカフェ・飲食店
- ・他店にないオンリーワンのメニュー

●店舗

- ・音楽や洋服など、ここでしか買えない専門店

●イベントスペース

- ・ライブやフェスなどのイベント開催
- ・店舗との一体的な活用

■増田地区防災広場の活用拡大イメージ



- ・公園機能の拡大
- ・子育て世代の親子をターゲットに遊具設備を充実
- ・防災イベント開催（防災脱出ゲームなど）

■ 1 班の意見

■ にぎわい再生に向けた対象者の検討

ターゲット	対象とした理由
子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代を見据えたため ・ ”地元” になってもらうことができるから ・ ターゲットの幅が広がる
学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来帰ってきてもらうため ・ 通学需要があるため

■ 名取駅コミュニティプラザの活用について

項目	内容
利用状況	<p>②利用していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅西口を利用しないため ・ 名取駅コミュニティプラザは、何ができる場所なのか分からない（告知が必要）
どのような施設となれば利用するか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店になれば、サクッと立ち寄ってもらえる（立ち食いそば など） ・ シェアオフィスやレンタルオフィスとして使う
複合施設との使い分け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名取駅構内である利点を活かした内容とする



■ 2・4班の意見

■ にぎわい再生に向けた対象者の検討

ターゲット	対象とした理由
子育て世代の親子	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる割合が高く、車を利用しなくても集まれる ・郷土愛を持ちやすい
若い男女	<ul style="list-style-type: none"> ・将来帰ってきてもらうため ・通学需要があるため
通勤・通学客	<ul style="list-style-type: none"> ・名取駅利用者が多いため

■ 名取駅コミュニティプラザの活用について

項目	内容
利用状況	<p>②利用していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名取駅コミュニティプラザは、何ができる場所なのか分からない（告知が必要）
どのような施設となれば利用するか	<ul style="list-style-type: none"> ・託児施設 ・ペット預かり ・情報案内の強化 ・有料サービスの強化（住民票発行など） ・投票場として活用
複合施設との使い分け	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行情報の発信（JR） ・名取駅構内である利点を活かす



■ 3班の意見

■ にぎわい再生に向けた対象者の検討

ターゲット	対象とした理由
20～40代の 子育て世代	・名取は学校が多く、子育て世代(ファミリー)の多いまちであるため

■ 名取駅コミュニティプラザの活用について

項目	内容
利用状況	<p>①利用している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅近でFree Wi-Fi もあり、勉強場所として利用している ・図書館に入れなかった人の受け皿となっている ・名取駅コミュニティプラザを知らない人が多い（良い意味で隠れ家的に使える）
どのような施設となれば 利用するか	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が集まれて、しゃべれて、勉強できる場所
複合施設との使い分け	<ul style="list-style-type: none"> ・名取駅コミュニティプラザは学生が使い、複合施設は大人が使う（施設の使い分け） ・学生が沢山いると入りづらいので、施設に応じて対象者を分ける ・複合施設は大人向けに集まったり、チョイ飲みできたりできる場所



■回遊ルートの検討

回遊ルートは、既存の主要施設と想定した施設・店舗を基に検討を行いました。それぞれの班から出された意見をまとめると、県道 仙台名取線を基軸に、県道 名取停車場線、市道 増田野田線、市道 神社駅線を主要道路に回遊するルートとなりました。



Map data © OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates, Esri Community Maps contributors, Map layer by Esri

■回遊ルートの課題

検討された回遊ルートの中では、古い町並みであることから、道路が狭隘である。凸凹して歩きにくい。歩道が無い。危険な交差点があるなどのリスクがあるとの意見が寄せられました。



Map data © OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates, Esri Community Maps contributors, Map layer by Esri



(5) 第5回にぎわい再生ワークショップ

第5回にぎわい再生ワークショップでは、整備エリアについての意見やこれまでのワークショップの振り返りと成果について報告を行いました。

①ワークショップの概要

タイトル：第5回 にぎわい再生に向けて

開催日時：令和4年12月11日（日）14：00～15：30

会場：名取市役所 西棟2階会議室

参加者：10名

②ワークショッププログラム

- 開会
- あいさつ
- 前回のおさらい
- 整備エリア（案）報告
- 整備エリア（案）に対する意見
- ワークショップ成果報告
- 今後のスケジュール
- 閉会

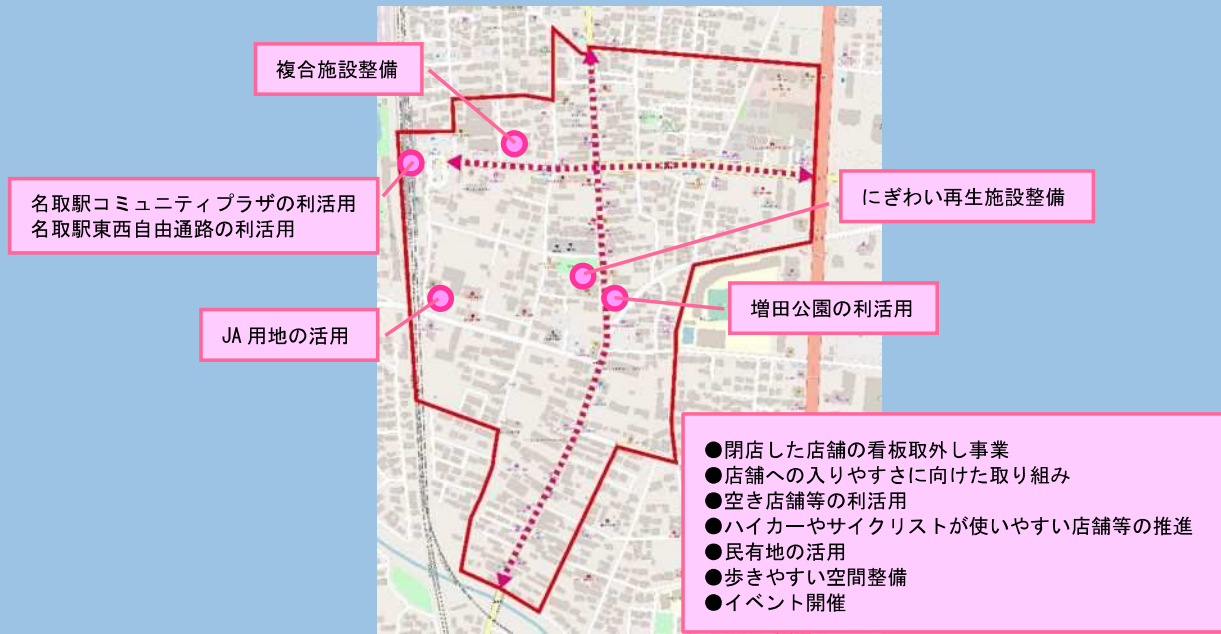
③整備エリア（案）報告

④にぎわい再生施設の整備イメージ



■整備エリア（案）報告

計画エリア（区域）は、駅前通り（県道 名取停車場線・関上港線）と商店街通り（県道 仙台名取線）を基軸に住宅街や学校教育施設などを極力除いたコンパクトな区域で、にぎわい再生事業に取り組みます。計画事業は、名取駅コミュニティプラザの利活用や複合施設整備、にぎわい再生施設整備などの13事業を想定しています。



■にぎわい再生施設の整備イメージ



■これまでのワークショップを通じての意見

- ・人を呼び込むのが理想であるが、駅東商店街はすでに専門店化しており、現状のままでは回遊や統一感を出すことは難しいと感じる。
- ・旧視聴覚センタービルの活用がネックとなっている。イメージパースようになると地元の人も来やすくなると思う。
- ・増田地区防災広場でキッチンカーの営業許可を取ろうと市に相談したが「何かあったら現状復帰」と言われてしまった。賑わいの創出に向けて出店のハードルを下げてほしい。
- ・以前からマルシェに参加していたが、どの程度成果があったのか。このようなイメージパースを見せられても、今やっているマルシェとどのように違うのか。商業施設を作っただけでは賑わいは生まれないと思う。今後どのように進めていきたいのか。
- ・マルシェの集客に苦勞している。市のこれらのバックアップとして広報活動などのソフト部分もしっかり支援してほしい。
- ・名取市も観光地と説明があったが、今年度、観光物産協会を訪れたツーリストは0だ。
- ・賑わいはどこから人が来るものなのか。イオンの周辺でも朝晩は通勤・通学者が多数歩いているが、昼間は人が歩いていない。人が歩き回っていれば賑わいということなのか。
- ・中心市街地の活性化をめざすのであれば、現在増えている空き家の対策もしっかりやるべきと思う。
- ・名取駅東地区は、長町、南仙台に次いで仙台のベットタウンとしてポテンシャルが高い。空き家や空き店舗を活用して若い世代を呼込んでほしい。
- ・第1回のワークショップでエリア内の危険な道路などをピックアップした。そのような箇所の整備を今後進めてほしい。



3. 学生懇談会

市内に立地する学校施設の学生を対象に学生懇談会を開催しました。

懇談会では、にぎわい再生ワークショップで議論した「若者が集まれる場所の創出」をテーマに名取駅東地区に学生が集まりたいと思える施設や店舗、イベントについて忌憚のない意見を求めました。

①懇談会の概要

タイトル：学生懇談会

開催日時：令和4年9月4日（日）10：00～12：00

会場：増田公民館4階 講義室

参加者：10名（尚絅学院大学5名、名取北高等学校4名、仙台高等専門学校1名）

②懇談会プログラム

- 開会
- あいさつ
- 懇談会の目的
- 名取駅東地区の状況
- にぎわい再生ワークショップの意見
- 意見交換
- 閉会



③意見交換

■意見交換



Map data © OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates, Esri Community Maps contributors, Map Layer by Esri



●図書館東側の空き地 no.①

- ・図書館との差別化を図り、一人ひとりの区切りではなく、グループで勉強できる学習スペースがあればよい。
- ・また、Free Wi-Fiがあり、安いドリンクや持ち込み可能なドリンクがあればよい。

●増田地区防災広場 no.②

- ・音楽フェスなどのイベント。
- ・音楽に関する店舗と一体的な活用が見込める。
- ・防災脱出ゲームなどがよいと思われる。
- ・広場活用として、遊具設置により、子育て世代の集客が見込まれる。

●増田地区防災広場横 no.②

- ・カフェ、飲食店が無いので、昼食や学校帰りに立ち寄れる場がほしい。
- ・男子が立ち寄れるような飲食店。
- ・差別化を図るため、他にない食べ物に特化する。
- ・音楽、洋服などの店。

●増田公園（三角公園） no.③

- ・三角公園は隣の民間の用地を取り込むことで、活用が見いだせると思われる。

4. 施設整備の検討

●建物構造における施設整備のメリット・デメリット

種別	建築（鉄骨造）	建築（木造）
①耐用年数	31年 (飲食店)	22年 (店舗)
②初期費用 (イニシャルコスト)	 <p>価格：3,640万円(想定) 参考：建物の鑑定評価必携 単価：182,000円/㎡×200㎡</p>	 <p>価格：5,840万円(想定) 参考：建物の鑑定評価必携 単価：292,000円×200㎡</p>
③ランニングコスト等	<ul style="list-style-type: none"> ●10年毎の外壁修繕など ●固定資産税・不動産取得税の課税対象 ●都市計画税の課税対象 	<ul style="list-style-type: none"> ●10年毎の外壁修繕など ●固定資産税・不動産取得税の課税対象 ●都市計画税の課税対象
④設置の容易さ	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建物の基礎工事が必要 	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建物の基礎工事が必要
⑤設計自由度	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用途地域の規制あり ●建ぺい率・容積率の規制あり 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用途地域の規制あり ●建ぺい率・容積率の規制あり
⑥全体評価	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建築費が高い ●解体費用がかかる 	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建築費が高い ●解体費用がかかる
⑦備考	<ul style="list-style-type: none"> ●建築期間：最短4ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ●建築期間：最短4ヶ月

コンテナハウス	トレーラーハウス
34年 (重量鉄骨造)	メーカー：25～30年 (参照：Tiny house)
	
価格：1,500万円～ 参考：コンテナ.com by JACACON 製品：20ft×5	価格：429万円+α 参考：LUKURA 製品：LJ11 (11m×3.2m)
<ul style="list-style-type: none"> ● 5年毎の外装塗装 (参照：ATS. japan) ● 固定資産税・不動産取得税の課税対象 ● 都市計画税の課税対象 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5年毎の外壁等補修 (参照：SPACER) ● タイヤの劣化、損傷、空気圧チェック ● 固定資産税・不動産取得税の対象外 ● 都市計画税の課税対象外
△	○
<ul style="list-style-type: none"> ● 建物の基礎工事が必要 ● 搬入時に狭い道路は通れない ● (20ft6m、輸送車両6m、合計12m)。 ● 電線が込み入っていると設置できない (クレーンで吊るため)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物の基礎工事不要 ● 搬入時に狭い道路は通れない ● 移動、移設ができる ● すぐに更地に戻せる ● 地震に強い
○ (連結する場合)	△
<ul style="list-style-type: none"> ● 用途地域の規制あり ● 建ぺい率・容積率の規制あり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入口が高い ● サイズに制限がある ● 平屋のみしか建てられない ● 風に弱い ● デザインに制限がある ● 都市ガスが使用できない
△	○
<ul style="list-style-type: none"> ● 戸建てより建築費が抑えられる ● 売却により解体費用がかからない場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築より安価で設置できる ● 移動・移設が可能 ● 売却可能 ● 解体費用がかからない
<ul style="list-style-type: none"> ● 建築期間：1ヶ月～3ヶ月程度 (参照：ATS. japan) ● コンテナを設置した後、内装等の工事を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作成期間：2.5ヶ月以上 ● 移送費：15～40万円 ● 設置費：20万円程度

※耐用年数は、税務による建物の耐用年数を参考



名取市